

令和6年度 市政アンケート調査 第4回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民644人(就任時)
- ①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和6年4月8日から令和7年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第4回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和6年9月5日から9月19日まで
- (2) 調査対象者数
- 637人
- (3) 回答者数
- 551人
- (4) 有効回答率
86. 5%
- (5) 調査テーマ
- ①「PM2.5・黄砂」について
 - ②「福岡市の広報活動」について
 - ③「水道水への意識や水道行政に対する満足度」について

3. 注意点

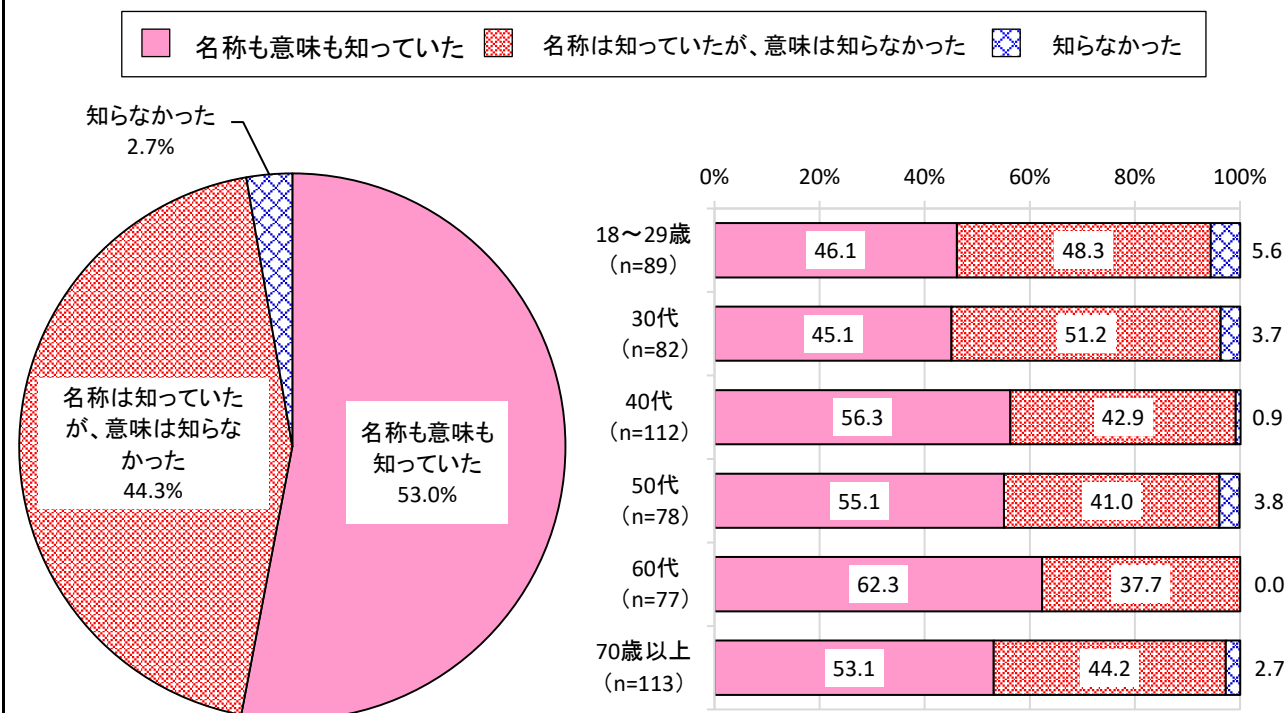
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「PM2.5・黄砂」について(N=551)

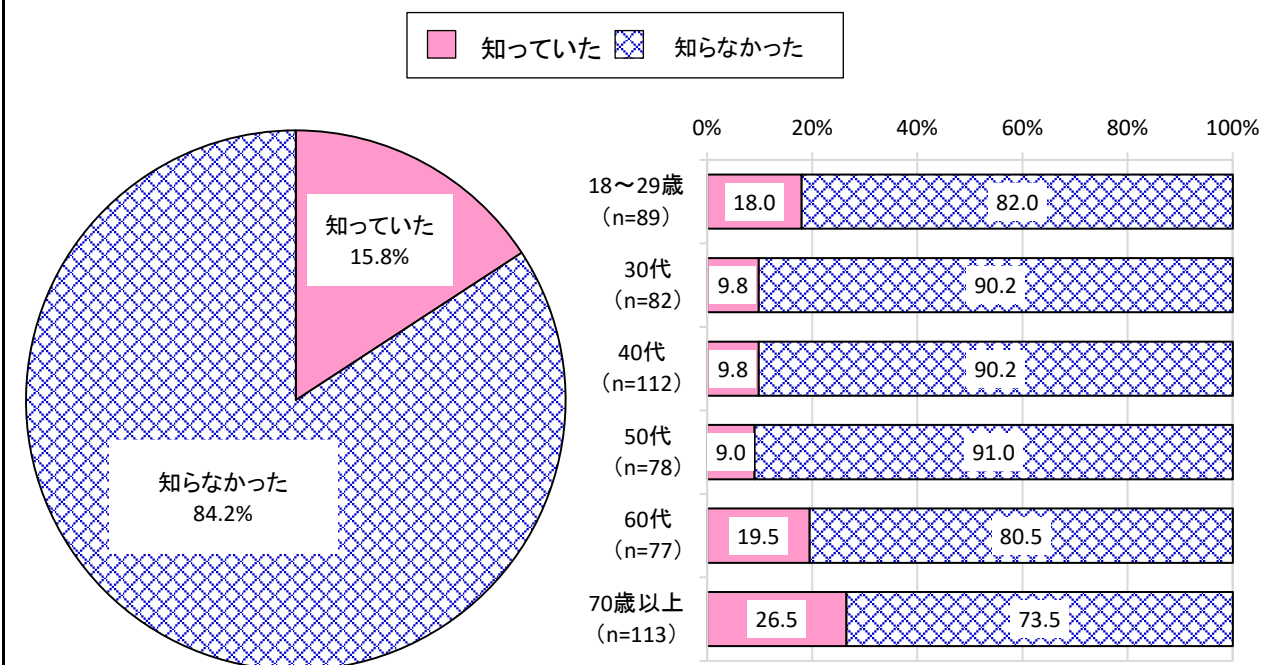
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの

例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

＜PM2.5の認知度＞

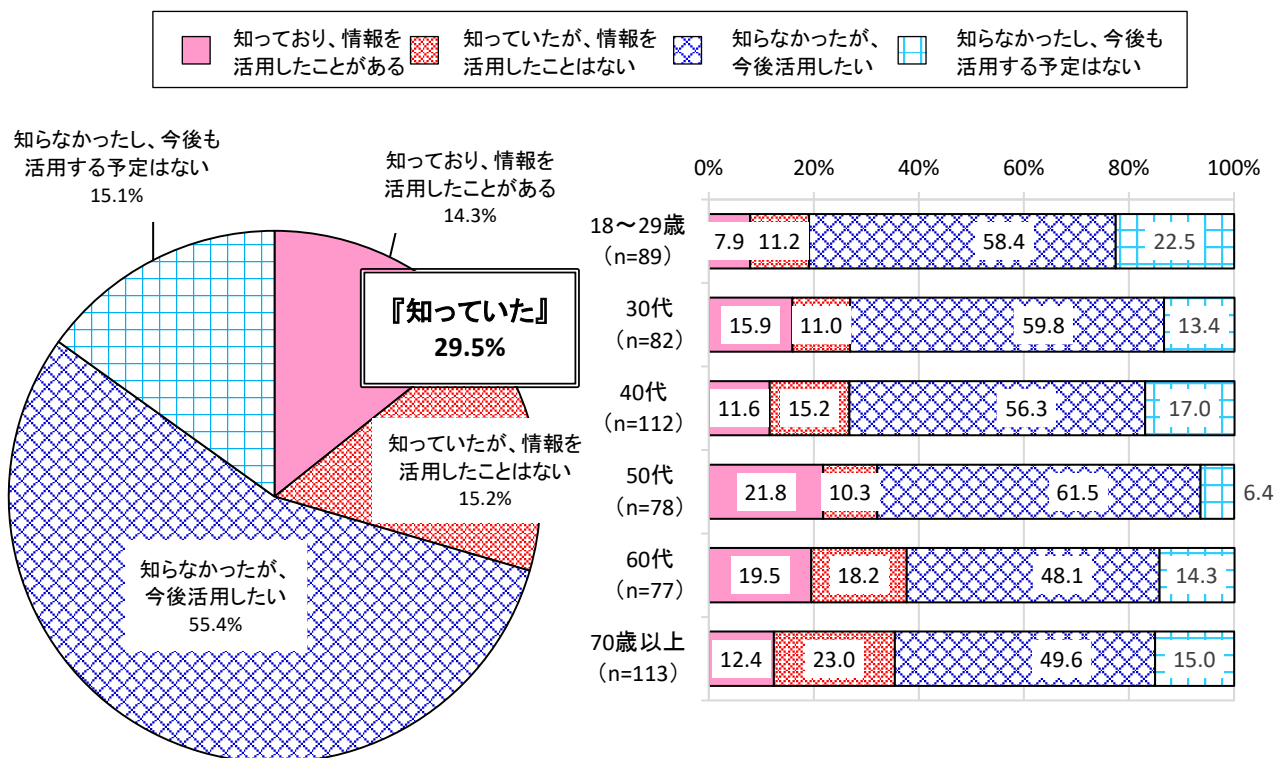


＜PM2.5の年間平均濃度が減少傾向にあることの認知度＞

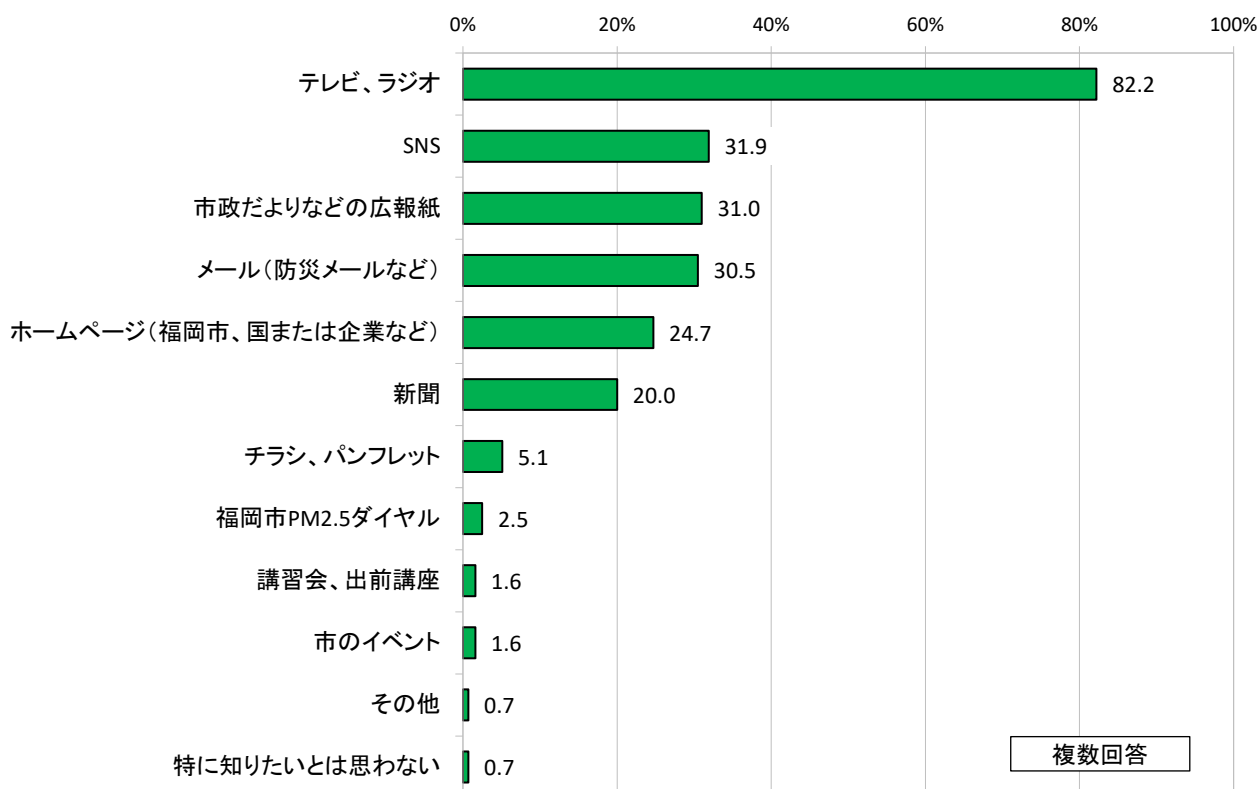


「知らなかった」と回答した方が84.2%でした。年代別にみると、18～29歳と60代以上で「知っていた」と回答した方の割合が高くなっています。

<<「福岡市PM2.5予測情報」の認知度・活用状況>>

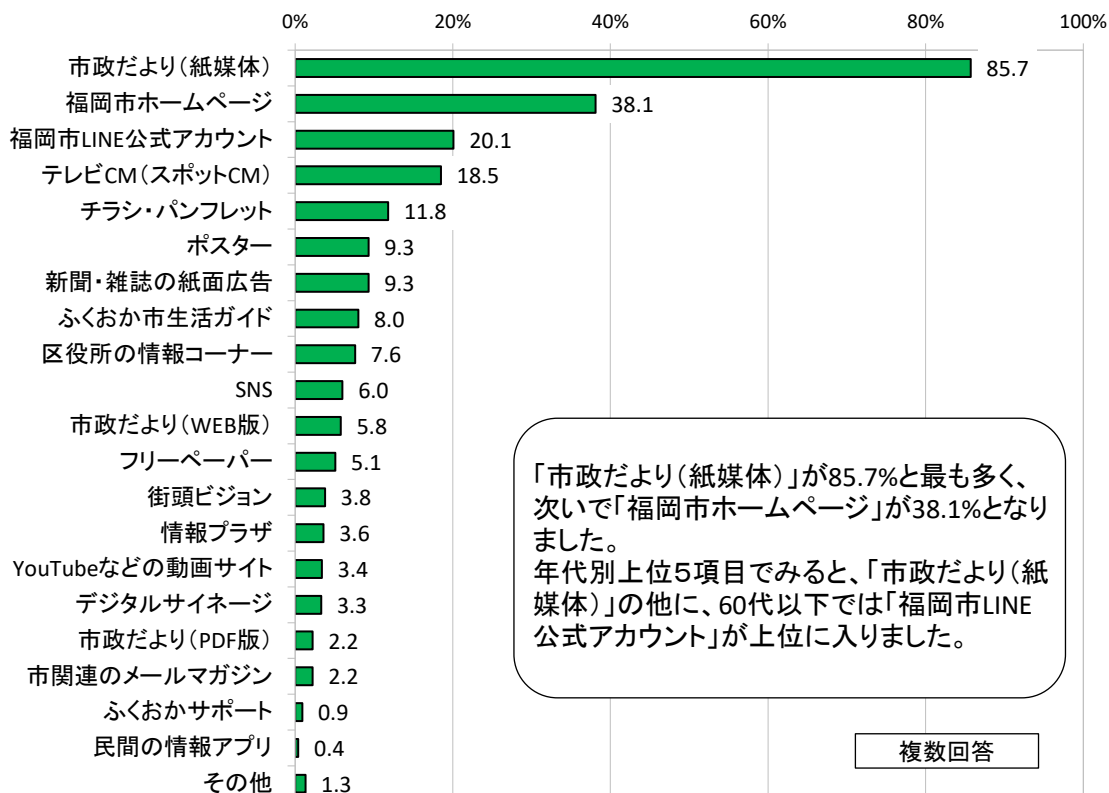


<<PM2.5に関する情報をどのような方法で知りたいか>>



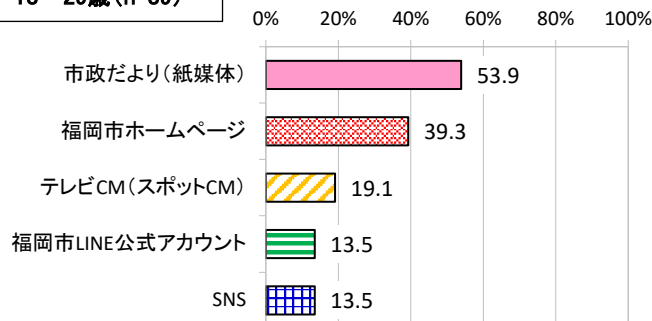
②「福岡市の広報活動」について(N=551)

≪ 市政情報を得るために利用したことがある広報媒体 ≫

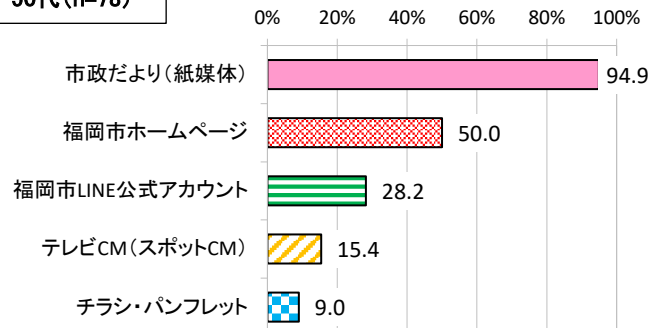


◆年代別上位5項目

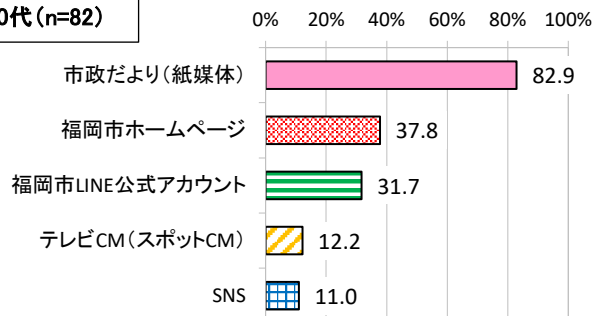
18～29歳 (n=89)



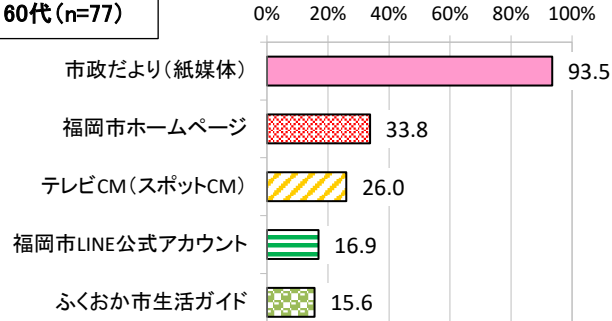
50代 (n=78)



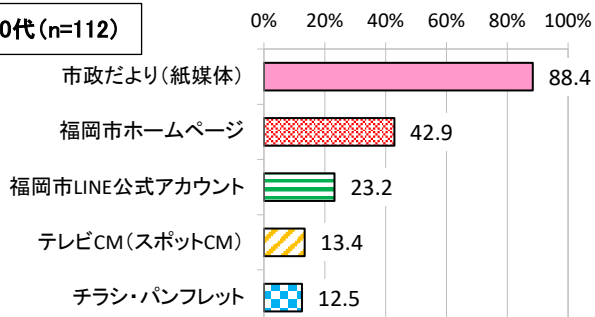
30代 (n=82)



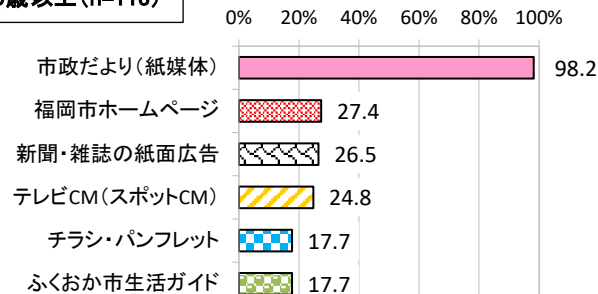
60代 (n=77)



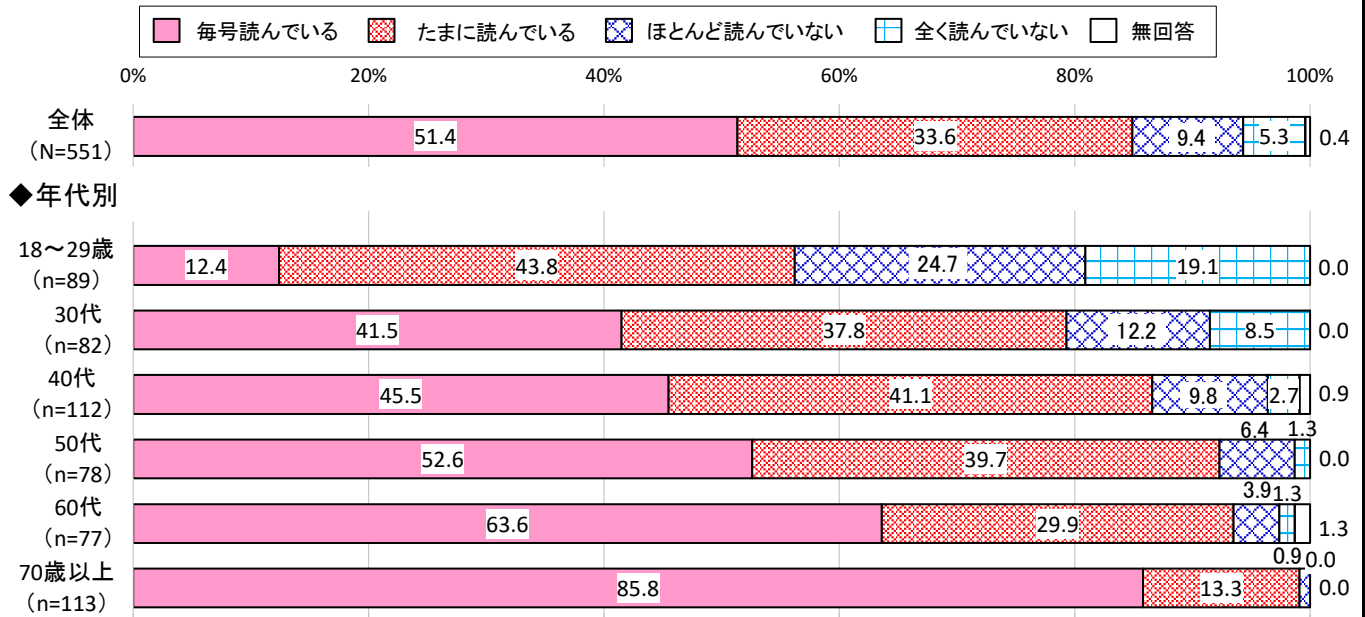
40代 (n=112)



70歳以上 (n=113)

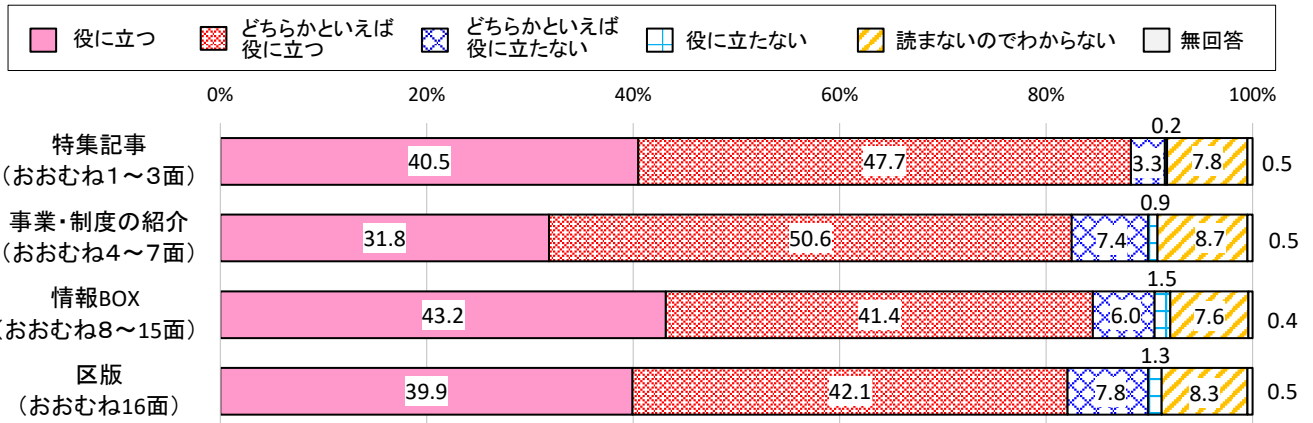


<< 市政だより(紙媒体)を読む頻度 >>



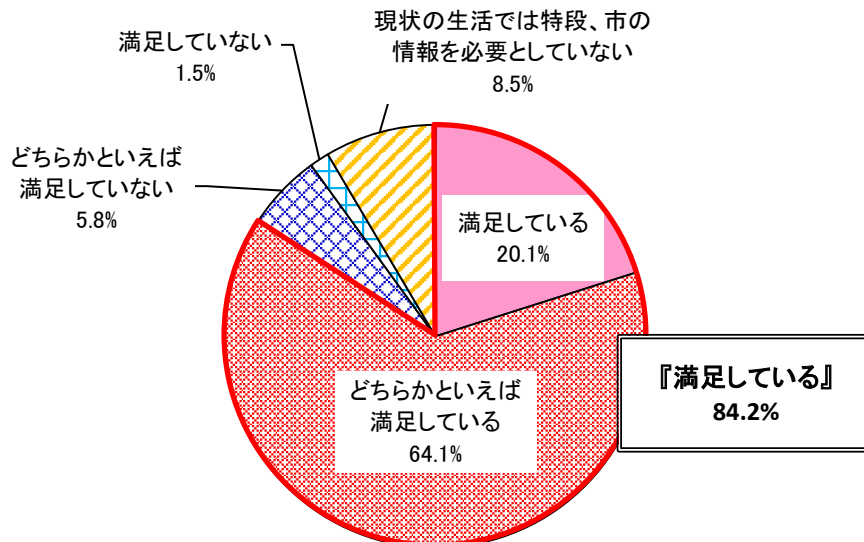
「毎号読んでいる」と回答した方は全体の51.4%となりました。年代別にみると、年代が上がるにつれて、「毎号読んでいる」と回答した方の割合が高くなっています。

<< 市政だよりの各記事は役に立つか >>



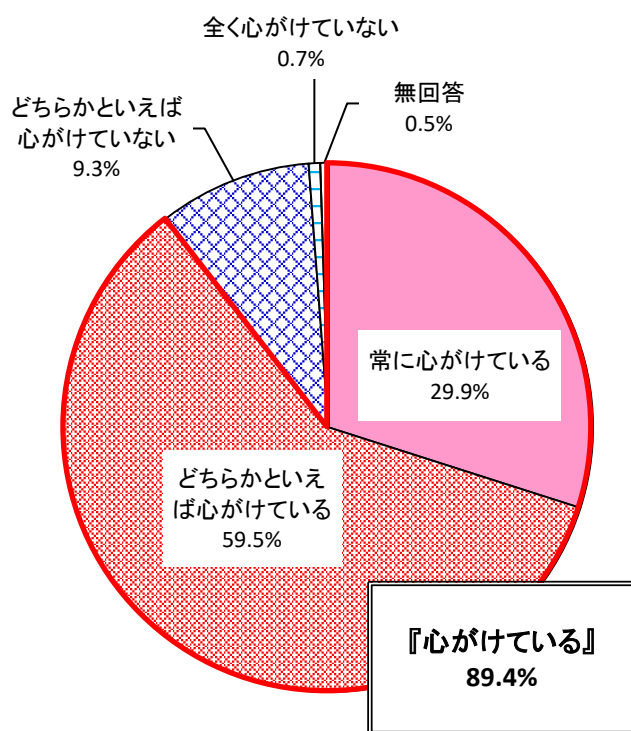
『役に立つ』と回答した方は「特集記事」で88.2%と最も多く、次いで、「情報BOX」で84.6%という結果になりました。

<< 福岡市の情報発信に対する総合的な満足度 >>

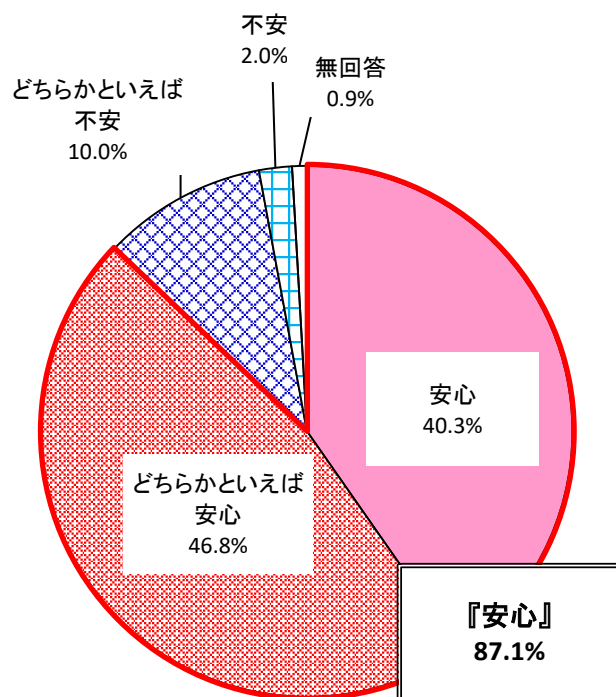


③「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について(N=551)

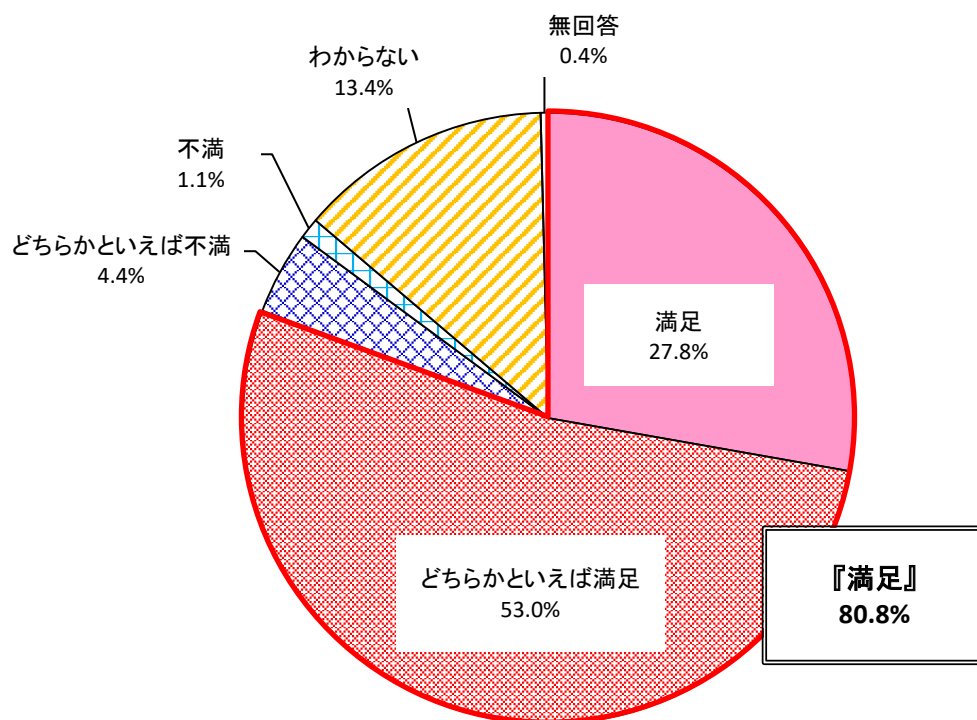
《節水をどの程度心がけているか》



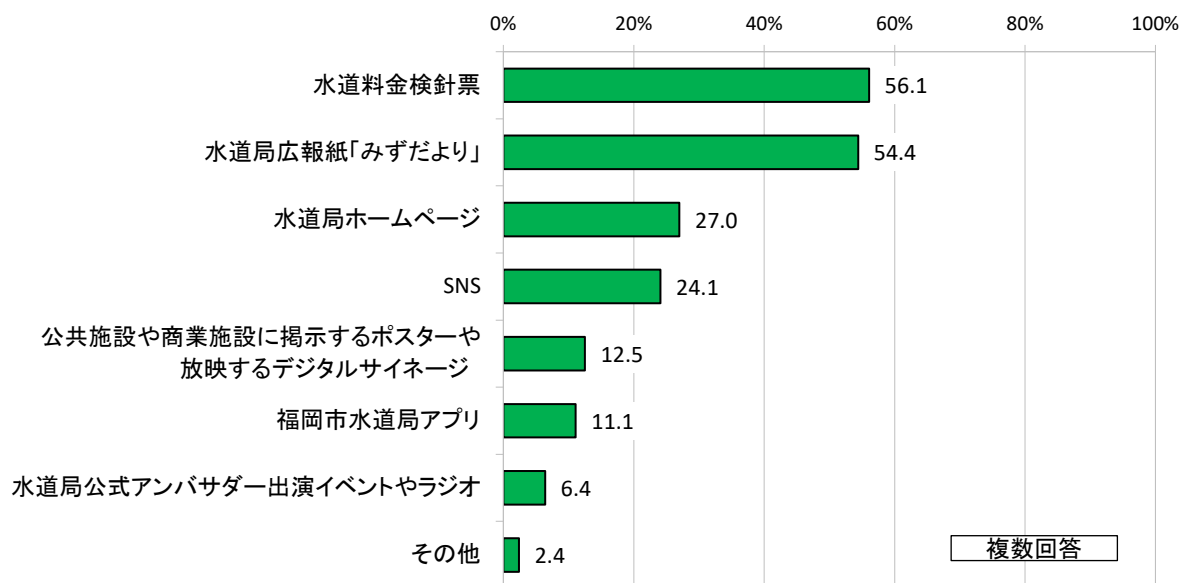
《水道水の安全性について
どのように感じているか》



《水道事業に満足しているか》

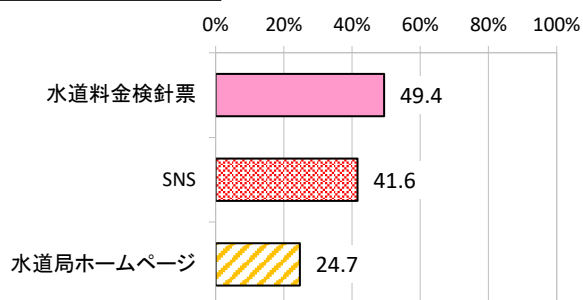


≪水道局の取り組みに関する情報をどのような方法で知らせてほしいか≫

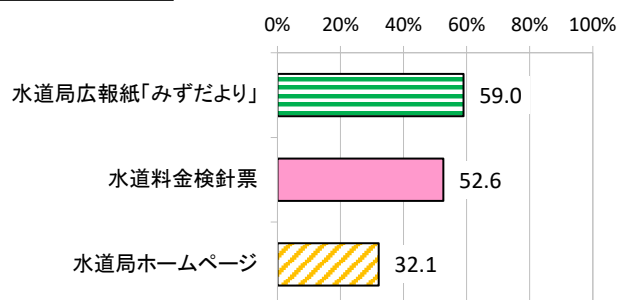


◆年代別上位3項目

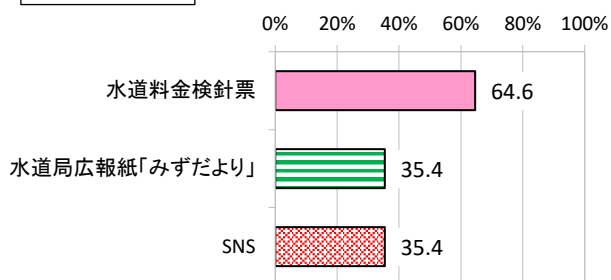
18～29歳 (n=89)



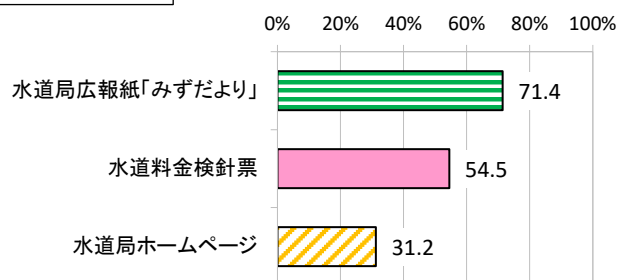
50代 (n=78)



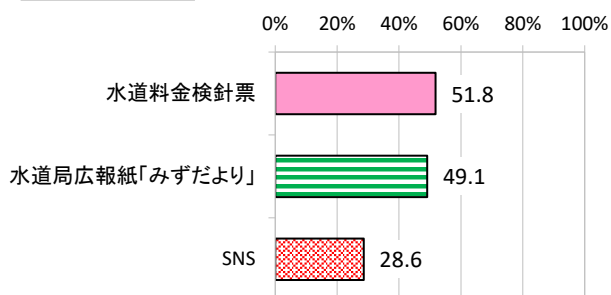
30代 (n=82)



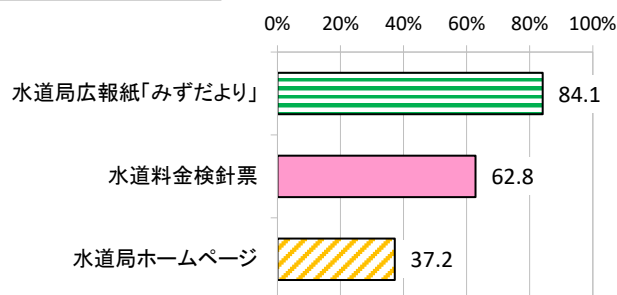
60代 (n=77)



40代 (n=112)



70歳以上 (n=113)



「水道料金検針票」が56.1%と最も多く、次いで「水道局広報紙『みずだより』」が54.4%となりました。年代別上位3項目でみると、30代以上では「水道局広報紙『みずだより』」が上位に入りました。

第4回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和6年9月5日～9月19日
■調査数	637件
■回答数	551件
■有効回答率	86.5%

1. 「PM2.5・黄砂」について

(担当課：環境局 環境保全課)

2. 「福岡市の広報活動」について

(担当課：市長室 広報課)

3. 「水道水への意識や水道行政に対する満足度」について

(担当課：水道局 総務課)

調査協力員番号	
---------	--

※ 調査協力員番号は 封筒の宛名シール に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

お名前	
-----	--

(提出期限) 9月19日(木) までにポストに投函してください。

<注意事項>

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

<メールでの市政アンケート調査案内をご希望の方>

下記二次元コードより（１）～（３）をご入力の上、送信してください。

※すでに登録済みの方は登録不要です。

- （１）「調査協力員番号（６桁）」
- （２）「生年月日」
- （３）「メールアドレス」



<https://questant.jp/q/3UI294ZLfukuokacity>

- ・ご登録いただいたメールアドレスに確認メール送信いたします。
確認メールが届きましたら、メールアドレス登録手続きは終了です。
- ・確認メールが届かない場合、迷惑メールフォルダなどの確認をお願いします。
引き続き、郵送にて案内を行いますが、アンケートへの回答は紙の調査票にある二次元コードからでも可能です。
- ・締め切り期限
調査実施月の前月 10 日を締め切りとしております。
例) 9 月 10 日までに手続き→第 5 回（10 月調査実施分）から電子メールにて案内
9 月 11 日以降に手続き→第 6 回（11 月調査実施分）から電子メールにて案内

《「PM2.5・黄砂」について》

福岡市では、PM2.5 や黄砂が市民生活や健康に与える影響を未然に防ぐため、市民の皆さまへさまざまな情報提供を行っているところです。

問1 PM2.5 とは、大気中に浮遊する小さな粒子のうち、粒子の大きさが 2.5 マイクロメートル^{※1}以下の非常に小さな粒子のことであり、特定の化学物質の名称ではありません。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=551) 無回答—

- | | |
|-----------------------|------|
| 1 名称も意味も知っていた | 53.0 |
| 2 名称は知っていたが、意味は知らなかった | 44.3 |
| 3 知らなかった | 2.7 |

※1 マイクロメートル

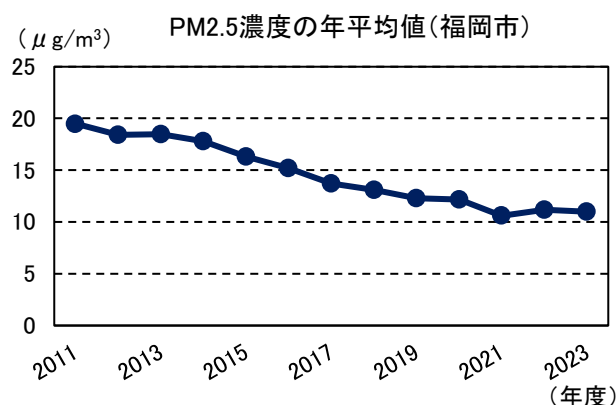
1マイクロメートル(μm)は1ミリメートル(mm)の1,000分の1です。

問2 福岡市を含め、全国的に PM2.5 の年間平均濃度は減少傾向にあります。あなたはこのことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=551) 無回答—

- | | |
|----------|------|
| 1 知っていた | 15.8 |
| 2 知らなかった | 84.2 |

福岡市の PM2.5 濃度について

PM2.5 濃度の年平均値については、測定を開始した 2011 年度以降、緩やかな減少傾向にあります(右図)。



問3 あなたは、PM2.5 に不安を感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=551) 無回答—

- | | |
|---------------------|------|
| 1 不安を感じている | 26.0 |
| 2 どちらかといえば不安を感じている | 55.4 |
| 3 どちらかといえば不安を感じていない | 13.2 |
| 4 不安を感じていない | 4.0 |
| 5 わからない | 1.5 |

問4 PM2.5 について、知りたい情報は何か。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=551) 無回答0.2

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1 基礎的な知識 (PM2.5 とは何か、発生源は何かなど) | 40.3 |
| 2 健康への影響 | 88.0 |
| 3 生活への影響 | 63.5 |
| 4 PM2.5 高濃度時の行動の目安 | 37.4 |
| 5 PM2.5 の濃度 | 20.5 |
| 6 PM2.5 の予測情報 | 39.6 |
| 7 PM2.5 の成分 | 20.7 |
| 8 その他 (具体的に：) | 1.3 |
| 9 特に知りたい情報はない | 1.6 |

問5 PM2.5 に関する情報をどのような方法で知りたいですか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=551) 無回答-

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1 テレビ、ラジオ | 82.2 |
| 2 新聞 | 20.0 |
| 3 市政だよりなどの広報紙 | 31.0 |
| 4 チラシ、パンフレット | 5.1 |
| 5 ホームページ (福岡市、国または企業などのホームページ) | 24.7 |
| 6 メール (防災メールなど) | 30.5 |
| 7 SNS (フェイスブック、エックス (旧ツイッター)、ラインなど) | 31.9 |
| 8 福岡市 PM2.5 ダイアル (テレホンサービス) | 2.5 |
| 9 講習会、出前講座 | 1.6 |
| 10 市のイベント | 1.6 |
| 11 その他 (具体的に：) | 0.7 |
| 12 特に知りたいとは思わない | 0.7 |

問6 福岡市は、福岡市ホームページや防災メール、LINE などにより独自に「福岡市 PM2.5 予測情報」を提供していることを知っていましたか。また、その情報を活用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=551) 無回答-

- | | |
|------------------------|------|
| 1 知っており、情報を活用したことがある | 14.3 |
| 2 知っていたが、情報を活用したことはない | 15.2 |
| 3 知らなかったが、今後活用したい | 55.4 |
| 4 知らなかったし、今後も活用する予定はない | 15.1 |

問7 福岡市は、福岡市ホームページや防災メール、LINE などにより独自に「黄砂※²の飛来の予測情報」を提供していることを知っていましたか。また、その情報を活用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=551) 無回答0.2

- | | |
|------------------------|------|
| 1 知っており、情報を活用したことがある | 16.3 |
| 2 知っていたが、情報を活用したことはない | 14.0 |
| 3 知らなかったが、今後活用したい | 56.8 |
| 4 知らなかったし、今後も活用する予定はない | 12.7 |

※2 黄砂

黄砂とは中国大陸内部の砂漠などで風により巻き上げられた粒子が日本に飛来し、大気中に浮遊あるいは降下する現象です。

PM2.5 や黄砂に関する福岡市独自の情報提供について

福岡市では、「福岡市 PM2.5 予測情報」や「福岡市黄砂情報」を市のホームページや防災メール、LINEなどで提供しています。

< 市ホームページ >

福岡市 PM2.5 検索 

福岡市 黄砂 検索 

< 防災メール > ※要登録

福岡市 防災メール 検索 

< LINE > ※要登録

福岡市 LINE 公式アカウント 検索 

< PM2.5 ダイヤル(テレホンサービス) >

当日の PM2.5 予測情報と市内9か所の最新の PM2.5 測定値を自動音声でお知らせします。

電話番号 050-3000-2500 (電話料金利用者負担)

《「福岡市の広報活動」について》

福岡市では、市民の皆さまに市政情報をお知らせするために、広報紙「福岡市政だより」の発行（毎月1日と15日の月2回、総ページ数16ページで発行、全世帯に配布）をはじめ、さまざまな広報活動を行っております。

問8 あなたは、市政情報を得るために下記の媒体を利用したことがありますか。利用したことがあるものをすべて選んでください。（N=551）無回答－

1 市政だより（紙媒体）	85.7
2 市政だより（PDF 版）	2.2
3 市政だより（WEB 版）	5.8
4 福岡市ホームページ	38.1
5 チラシ・パンフレット	11.8
6 ポスター	9.3
7 ふくおか市生活ガイド（冊子）	8.0
8 区役所の情報コーナー	7.6
9 情報プラザ（市役所 1 階）	3.6
10 テレビCM（スポットCM）	18.5
11 YouTube などの動画サイト（「福岡チャンネル」など）	3.4
12 福岡市 LINE（ライン）公式アカウント	20.1
13 SNS（エックス（旧ツイッター）、フェイスブック、インスタグラムなど）	6.0
14 市関連のメールマガジン（福岡市メールマガジン、福岡市防災メールなど）	2.2
15 ふくおかサポート（福岡市公式ポータルサイト）	0.9
16 デジタルサイネージ（市役所、区役所、地下鉄駅構内などにある電子看板）	3.3
17 街頭ビジョン（商業施設などの大型モニター）	3.8
18 新聞・雑誌の紙面広告	9.3
19 フリーペーパー	5.1
20 民間の情報アプリ（マチイロ、マイ広報紙、Shufoo! など）	0.4
21 その他（具体的に： ）	1.3

市政だよりの閲覧方法

○紙媒体

市内全世帯と希望事業所に個別に配布

○PDF 版

紙媒体と同じものを福岡市ホームページ上で公開

○WEB 版

スマートフォンなどでも見やすいように、紙媒体に掲載している記事ごとにページを作成し、福岡市ホームページ上で公開

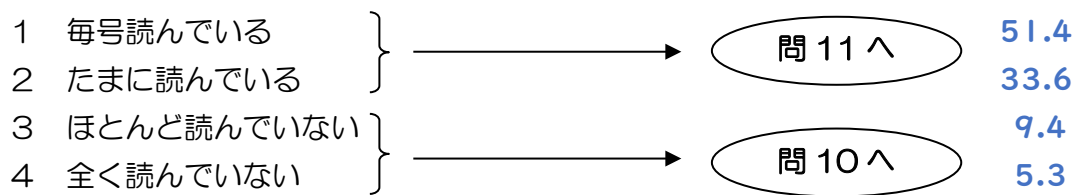


PDF 版の画面



WEB 版の画面

問9 あなたは、ご家庭に配られる「市政だより」（紙媒体）を読んでいますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=551）無回答0.4



問10 ≪ 問9で「3」「4」と回答した方におたずねします。 ≫

「市政だより」を読んでいない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=81) 無回答-

- | | | |
|---|--------------------------|------|
| 1 | 忙しくて読む暇がないから | 43.2 |
| 2 | 市政に興味・関心がないから | 25.9 |
| 3 | 役立つ情報が掲載されていないから | 12.3 |
| 4 | 面白い記事が掲載されていないから | 14.8 |
| 5 | 読みにくい、わかりにくいから | 8.6 |
| 6 | 必要な情報は新聞、テレビで得ることができるから | 17.3 |
| 7 | 必要な情報はインターネットで得ることができるから | 35.8 |
| 8 | その他（具体的に：　　　　　） | 8.6 |

《 すべての方におたずねします。 》

問 11 「市政だより」の1号あたりのページ数(現在、毎号16ページで発行)についてどう思いますか。

あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=551) 無回答0.7

- | | | |
|---|-------------|------|
| 1 | 今のままでよい | 81.7 |
| 2 | 増やしたほうがよい | 3.8 |
| 3 | 減らしたほうがよい | 11.3 |
| 4 | その他（具体的に： ） | 2.5 |

問 12 「市政だより」の発行頻度（現在、毎月 1 日と 15 日の月 2 回発行）についてどう思いますか。

あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=551) 無回答0.4

- | | | |
|---|-------------|------|
| 1 | 今のままでよい | 70.2 |
| 2 | 月3回以上の発行がよい | 0.9 |
| 3 | 月1回の発行がよい | 27.2 |
| 4 | その他（具体的に： ） | 1.3 |

問 13 「市政だより」では、以下の記事を掲載しています。それぞれの記事は役に立つと思いますか。

(1)～(4)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=551)

項 目	内 容	役に立つ	役に立つ どちらかといえば	役に立たない どちらかといえば	役に立たない	読まないの でわからない	無回答
(1)特集記事 (おおむね1～3面)	市の重要施策や発行時期に沿ったテーマ・市民のニーズが高いものなど	40.5	47.7	3.3	0.2	7.8	0.5
(2)事業・制度の紹介 (おおむね4～7面)	各種事業・制度の紹介、市民からの投稿コーナーなど	31.8	50.6	7.4	0.9	8.7	0.5
(3)情報BOX (おおむね8～15面)	市が主催・共催・後援する「催し・イベント・講座・講演会」などの案内、お知らせ・仕事・相談・施設の情報など	43.2	41.4	6.0	1.5	7.6	0.4
(4)区版 (おおむね16面)	地域の活動や催し、保健だよりなどの地域情報	39.9	42.1	7.8	1.3	8.3	0.5

問 14 「市政だより」に取り上げてほしいテーマや分野について、特にあてはまるものを5つまで選んでください。(N=551) 無回答-

1 市の財政、総合計画	27.9	13 人権	1.6
2 施設の情報	43.4	14 国際	3.4
3 イベント情報	56.1	15 文化芸術	13.6
4 子育て	22.0	16 スポーツ	10.2
5 教育・学校	18.0	17 農林水産	1.3
6 健康・医療	46.3	18 仕事	11.6
7 高齢者福祉	22.5	19 環境(ごみや省エネなど)	19.2
8 障がい者福祉	6.5	20 まちづくり(道路や公園、港など)	22.9
9 防災	35.8	21 住宅・住まい	7.6
10 防犯	16.0	22 その他(具体的に:)	1.3
11 消費生活	14.2	23 特になし	3.1
12 地域活動・ボランティア	11.1		

問 15 福岡市のホームページについて、総合的な満足度（見やすさ、欲しい情報が入手できるかなど）はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=551）無回答－

- | | |
|--------------------|------|
| 1 満足している | 14.9 |
| 2 どちらかといえば満足している | 52.5 |
| 3 どちらかといえば満足していない | 5.3 |
| 4 満足していない | 1.8 |
| 5 市のホームページを利用していない | 25.6 |

問 16 福岡市では、問8のような媒体（市政だより、福岡市のホームページやSNSなど）で情報発信を行っています。福岡市の情報発信に対する総合的な満足度はいかがですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。（N=551）無回答－

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 満足している | 20.1 |
| 2 どちらかといえば満足している | 64.1 |
| 3 どちらかといえば満足していない | 5.8 |
| 4 満足していない | 1.5 |
| 5 現状の生活では特段、市の情報を必要としていない | 8.5 |

問 17 市政だより・福岡市ホームページなど、市の広報活動への意見・要望などがあれば、ご自由にお書きください。

--

≪「水道水への意識や水道事業に対する満足度」について≫

昭和53年と平成6年の2度にわたる大渇水を経験した福岡市では、水道水を安定供給するために、市域外を流れる筑後川からの導水など様々な水源開発や水を有効に活用するための節水型都市づくりに取り組んできました。また、計画的な水道管の更新や国の基準よりも厳しい福岡市独自の水質目標を設定して、安全で良質な水道水を供給しています。

問 18 あなたは、節水をどの程度心がけていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=551) 無回答0.5

- | | |
|-------------------|------|
| 1 常に心がけている | 29.9 |
| 2 どちらかといえば心がけている | 59.5 |
| 3 どちらかといえば心がけていない | 9.3 |
| 4 全く心がけていない | 0.7 |

問 19 あなたは、水道水の安全性についてどのように感じていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=551) 無回答0.9

- | | | | | |
|--------------|---|---|--------|------|
| 1 安心 | } | → | 問 21 へ | 40.3 |
| 2 どちらかといえば安心 | | | | 46.8 |
| 3 どちらかといえば不安 | } | → | 問 20 へ | 10.0 |
| 4 不安 | | | | 2.0 |

問 20 ≪ 問 19 で「3」「4」と回答した方におたずねします。≫

あなたが不安に思う理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=66) 無回答-

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1 水道水はカルキ臭（塩素のにおい）などがあるから | 54.5 |
| 2 水道水に色がついていることがあるから | 6.1 |
| 3 さびなどの不純物が混ざっていることがあるから | 24.2 |
| 4 季節によって水温が変わるから | 24.2 |
| 5 貯水槽が管理されているか心配だから（定期的な清掃をしていないなど） | 45.5 |
| 6 新聞やテレビなどで、水道水の水質が話題になったことがあるから | 28.8 |
| 7 はっきりとした理由はないが、漠然と不安を感じているから | 21.2 |
| 8 その他（具体的に： ） | 16.7 |

≪ すべての方におたずねします。≫

問 21 福岡市で使用している水（平均40万m³/日）のおよそ3分の1は筑後川から導水するなど、水源を市外に頼っています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=551) 無回答0.5

- | | |
|----------|------|
| 1 知っていた | 39.9 |
| 2 知らなかった | 59.5 |

福岡市の水事情

水資源に恵まれていない福岡市は、ダム（全9つのうち、6つは市外）からの取水、近郊河川からの取水、福岡地区水道企業団からの受水（その多くは筑後川からの導水）で、約3分の1ずつをまかなっており、水資源の多くを市外に依存しています。

問 22 福岡市では、市外の水源地域等に対する市民の認識や理解を深めることを目的に、水源地域での森林の保全活動や、福岡市民と地域住民が協力して下草刈りなどを行う交流事業を行っています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=551) 無回答0.7

- | | |
|----------|------|
| 1 知っていた | 15.8 |
| 2 知らなかった | 83.5 |

問 23 水道局では、お客さまからいただいた水道料金を主な収入源として事業運営を行っています。いただいた料金の多くは、水道水を安定的にお届けするため、老朽化した水道管（約4,000キロメートル）の計画的な更新や浄水場などの維持管理のために使っています。あなたは、このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=551) 無回答0.7

- | | |
|----------|------|
| 1 知っていた | 41.0 |
| 2 知らなかった | 58.3 |

問 24 あなたは、水道局の取組みに関する情報をどのような方法で知らせてほしいと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。 (N=551) 無回答0.9

- | | |
|---|------|
| 1 水道局広報紙「みずだより」（市政だよりに折り込み、年3回発行） | 54.4 |
| 2 水道料金検針票（ご使用水量等のお知らせ） | 56.1 |
| 3 水道局ホームページ | 27.0 |
| 4 福岡市水道局アプリ（アプリの通知サービスなど）※アプリ：2024年1月リリース | 11.1 |
| 5 SNS（エックス（旧ツイッター）、ライン、ユーチューブなど） | 24.1 |
| 6 水道局公式アンバサダー出演イベントやラジオ | 6.4 |
| 7 公共施設や商業施設に掲示するポスターや放映するデジタルサイネージ | 12.5 |
| 8 その他（ ） | 2.4 |

問 25 あなたは、現在の水道事業に満足していますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=551) 無回答0.4

- | | |
|--------------|------|
| 1 満足 | 27.8 |
| 2 どちらかといえば満足 | 53.0 |
| 3 どちらかといえば不満 | 4.4 |
| 4 不満 | 1.1 |
| 5 わからない | 13.4 |

問 26 福岡市の水道事業に関する意見、要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

標本構成（第4回）（N = 551）

◆性別

男性	46.8
女性	53.2

◆年齢

18～29 歳	16.2
30 代	14.9
40 代	20.3
50 代	14.2
60 代	14.0
70 歳以上	20.5

◆職業

正社員・正職員	38.5
契約社員・派遣社員・嘱託	5.8
パート・アルバイト	14.5
会社等役員	2.0
自営業・家族従事者	4.5
専業主婦・専業主夫	13.8
学生	5.4
無職	14.2
その他	1.3

◆行政区

東区	21.6
博多区	12.7
中央区	13.2
南区	17.1
城南区	7.8
早良区	13.8
西区	13.8

◆居住年数

3 年未満	11.8
3 年以上 5 年未満	4.7
5 年以上 10 年未満	11.8
10 年以上 20 年未満	21.4
20 年以上 30 年未満	16.5
30 年以上	33.8

◆居住形態

持家の戸建て	34.8
持家の集合住宅	25.8
賃貸の戸建て	2.7
賃貸の集合住宅	34.3
社宅・寮	2.4
その他	—

◆18 歳未満の同居家族

いる	34.8
いない	59.5
無回答	5.6

◆65 歳以上の同居家族

いる	38.1
いない	61.3
無回答	0.5

◆回答方法

郵送	40.5
インターネット	59.5

令和6年度 市政アンケート調査 第5回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民644人(就任時)
- ①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和6年4月8日から令和7年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第5回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和6年10月7日から10月21日まで
- (2) 調査対象者数
- 636人
- (3) 回答者数
- 544人
- (4) 有効回答率
85. 5%
- (5) 調査テーマ
- ①「熱中症対策」について
 - ②「がん検診」について
 - ③「家庭ごみ」について
 - ④「福岡市の行政運営の取り組み」について

3. 注意点

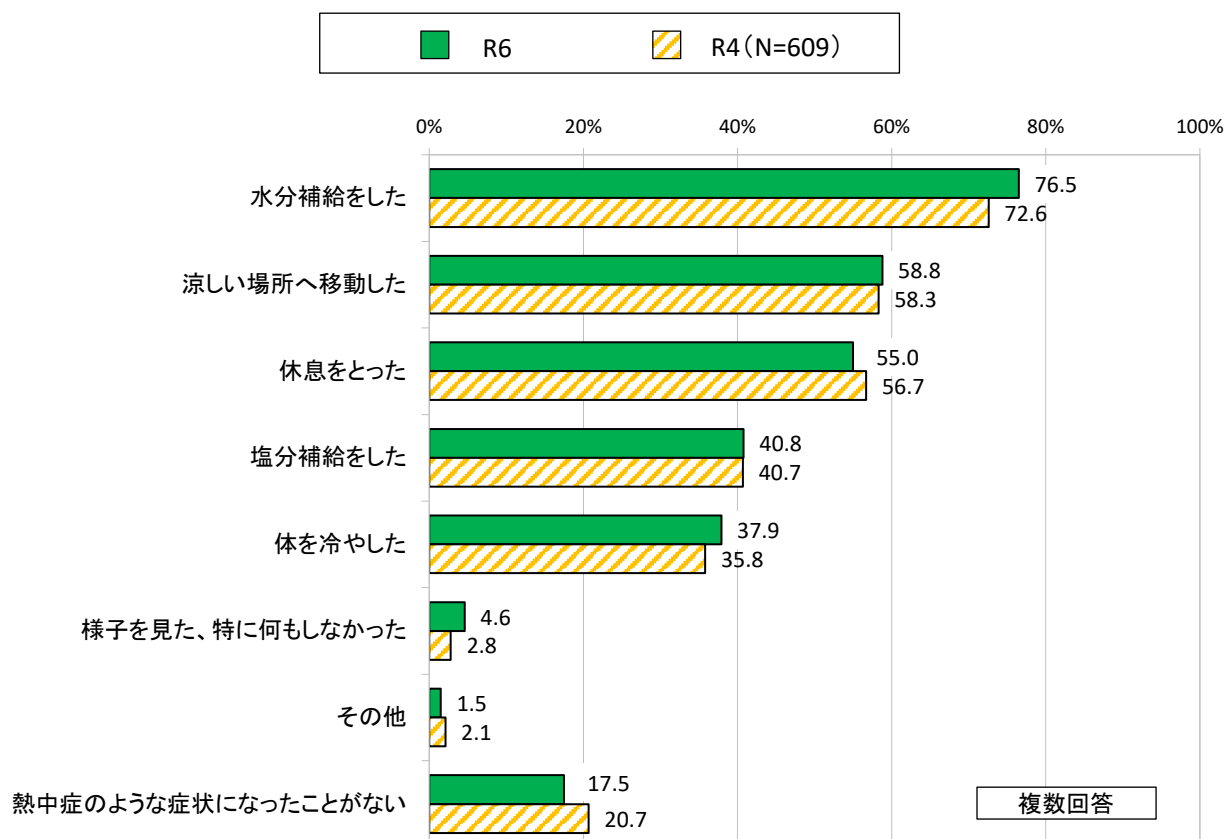
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「熱中症対策」について(N=544)

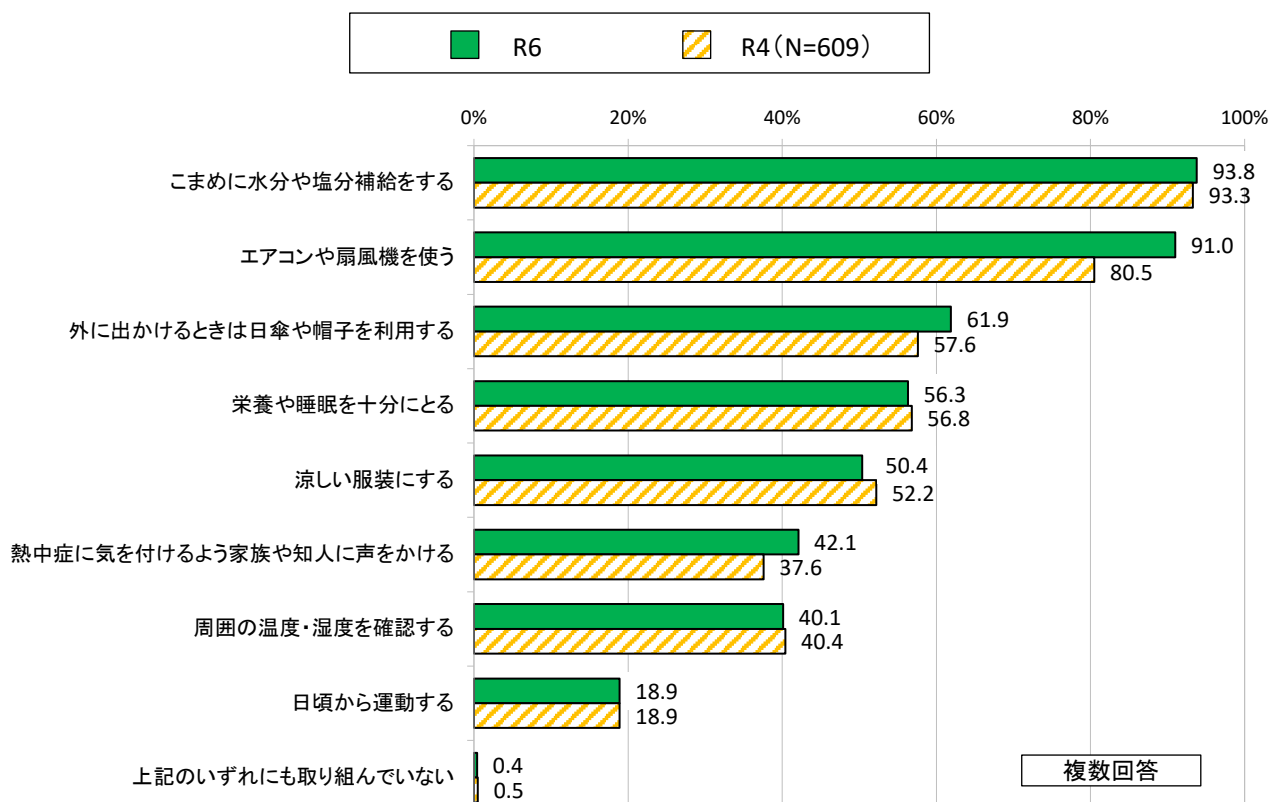
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの

例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

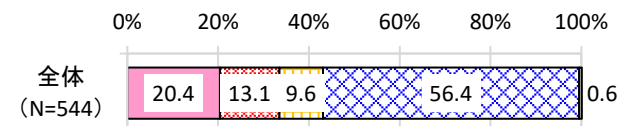
《熱中症になったかなと思ったときにとった行動》



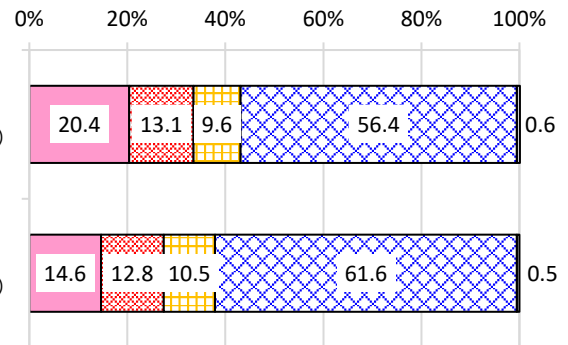
《熱中症対策として取り組んでいること》



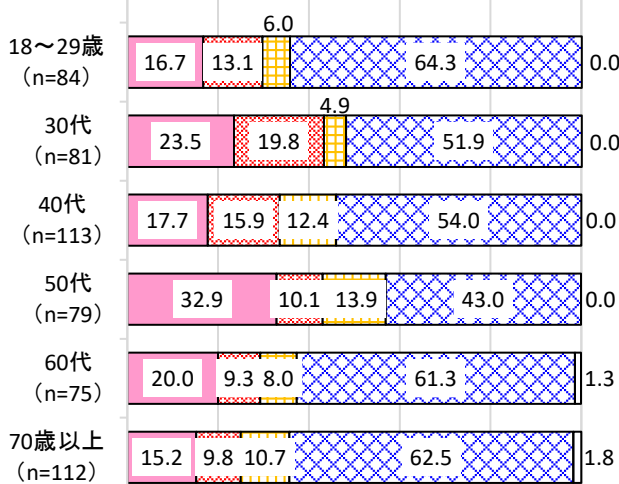
≪福岡市公式LINE(ライン)・福岡市防災メールで熱中症情報が配信されていることの認知度≫



◆R4年度調査との比較

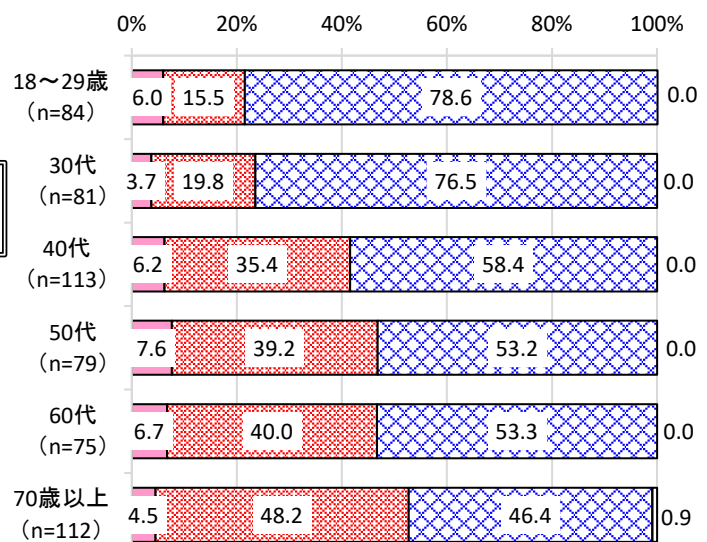
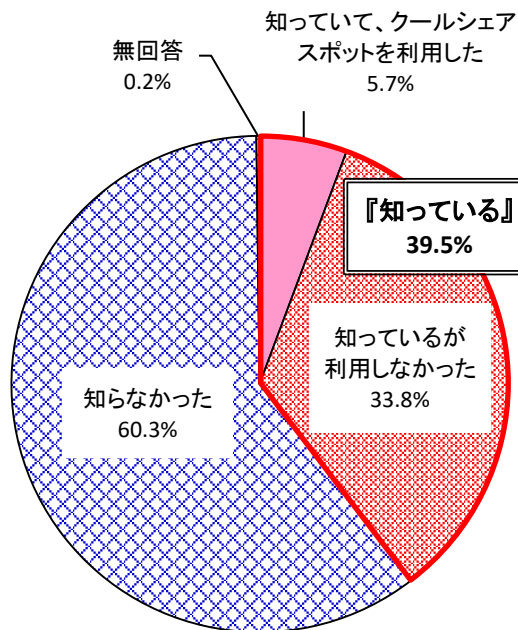


◆年代別



福岡市公式LINE(ライン)・福岡市防災メールのどちらかを「知っている」と回答した方は、令和4年度の調査と比較して、5.2ポイント増加しました。

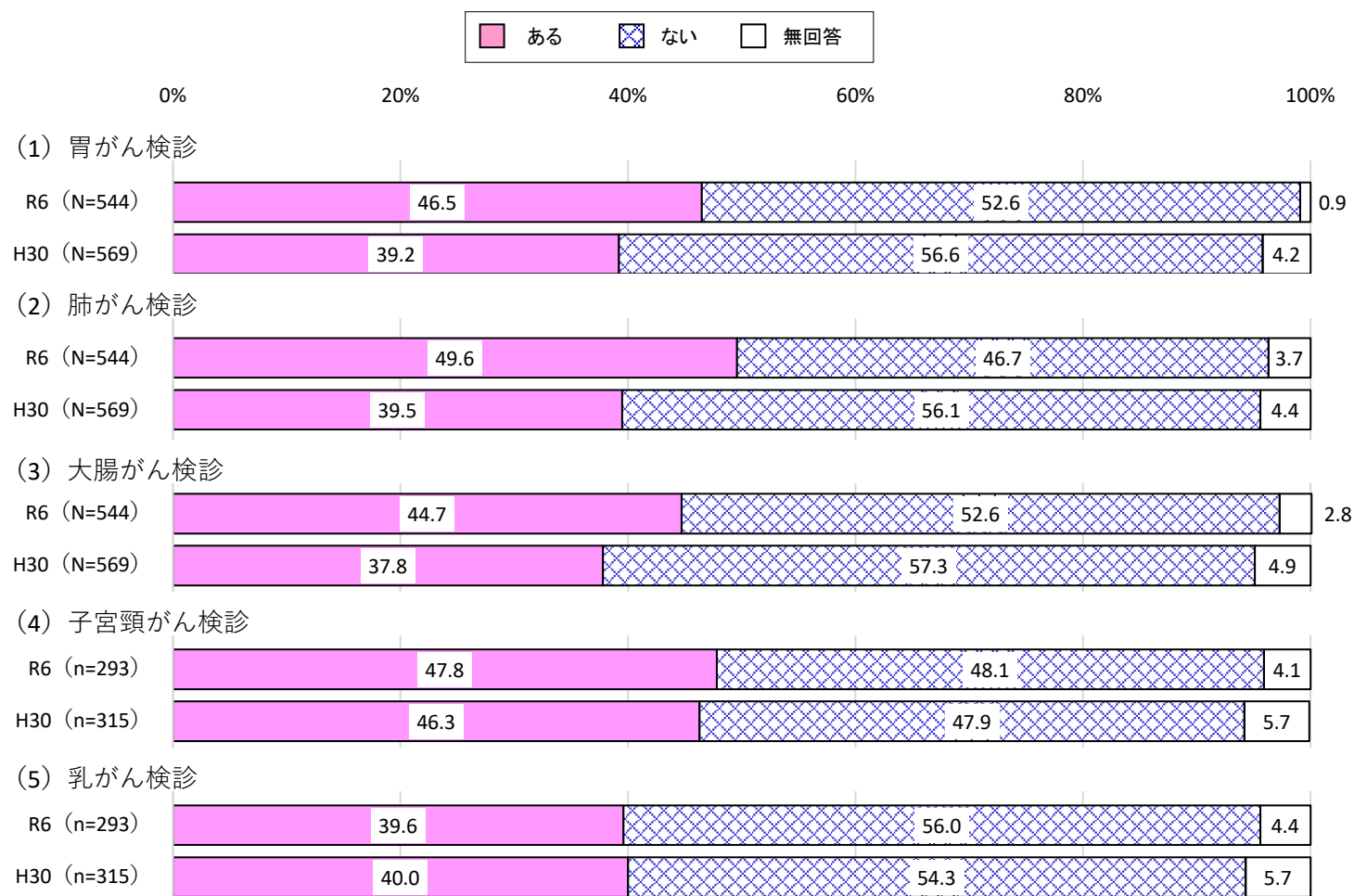
≪「クールシェアスポット」の認知度≫



『知っている』と回答した方は全体の39.5%となりました。年代別にみると、概ね年代が上がるにつれて、『知っている』と回答した方の割合が高くなっています。

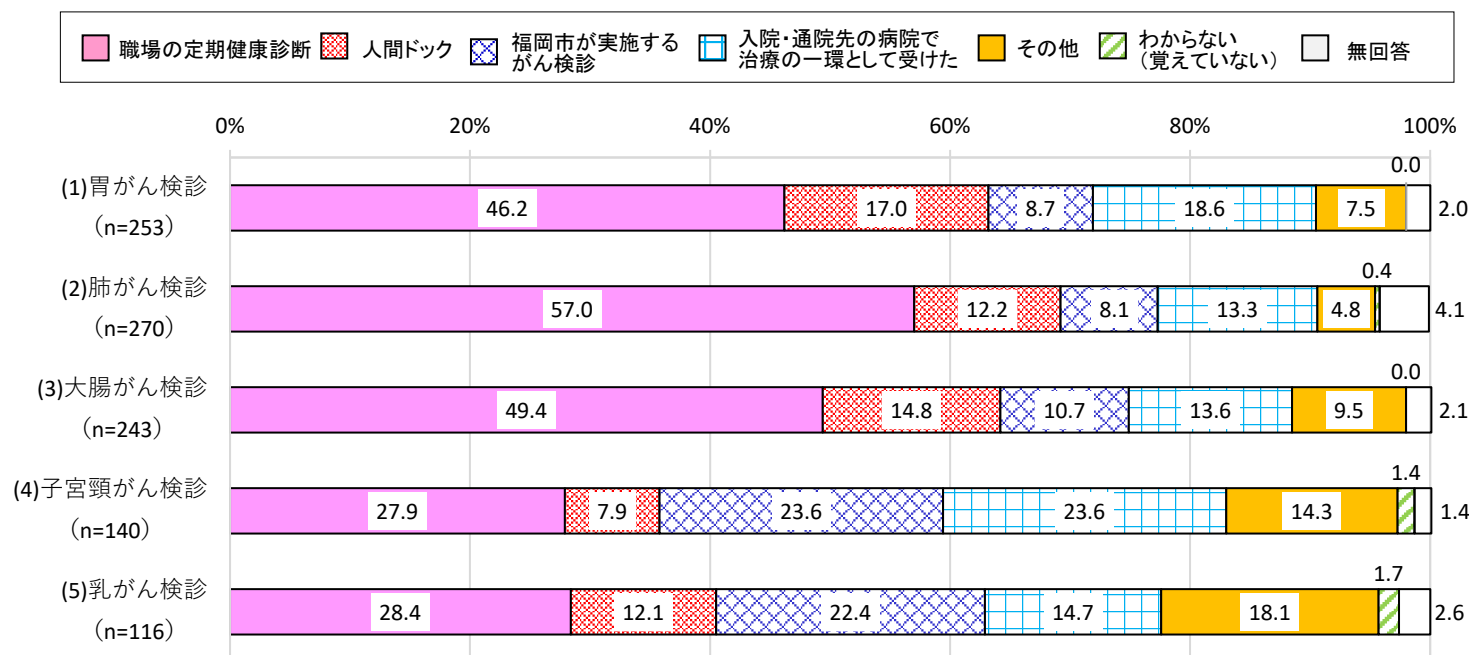
②「がん検診」について(N=544)

＜がん検診の受診の有無＞ ※(1)～(3)は過去1年間、(4)(5)は過去2年間で女性のみ回答。

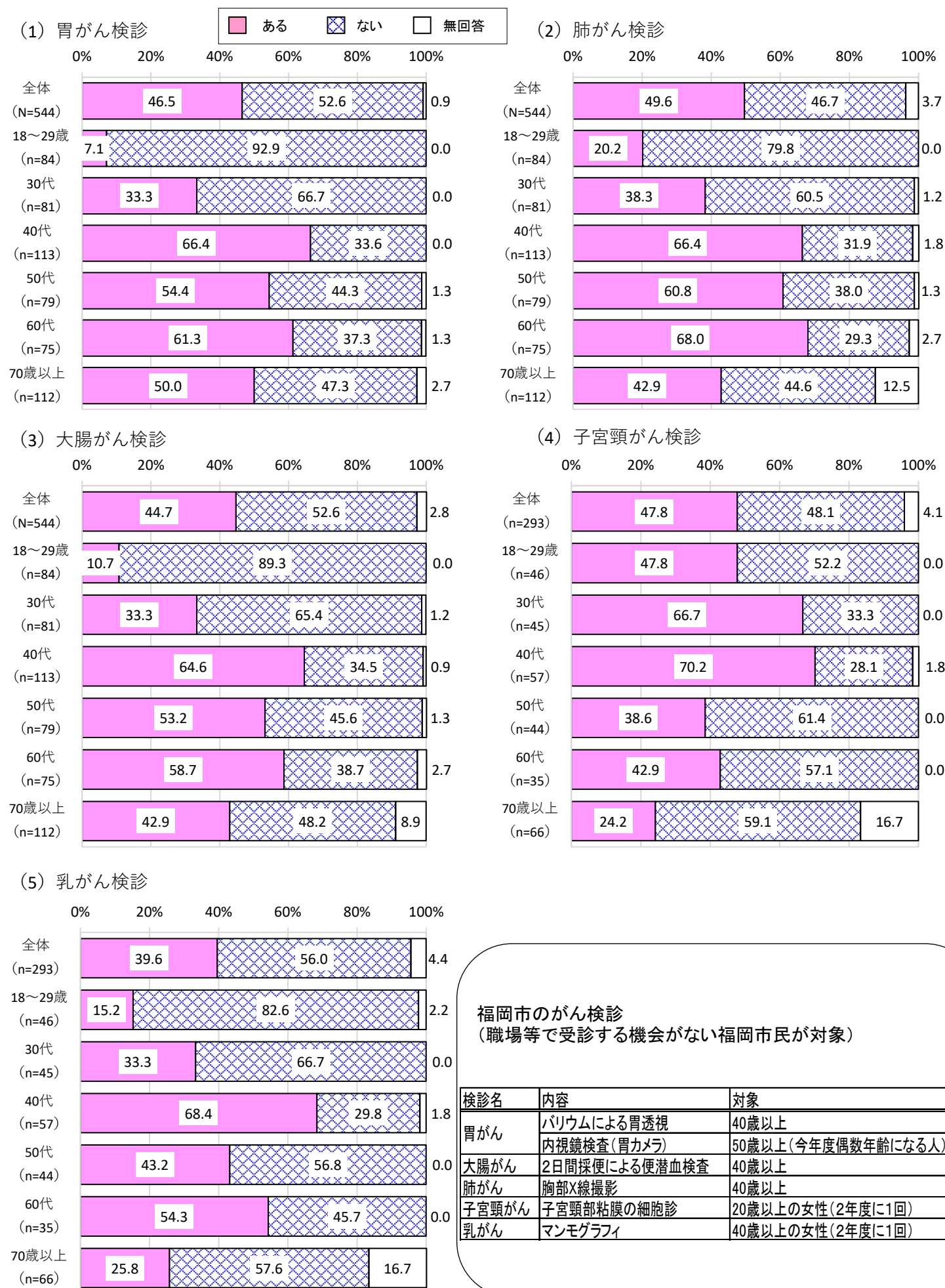


胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診については、平成30年度の調査と比較して、受診したことが「ある」と回答した方が増加しました。

＜がん検診の受診方法＞ ※(1)～(3)は過去1年間、(4)(5)は過去2年間で女性のみ回答。

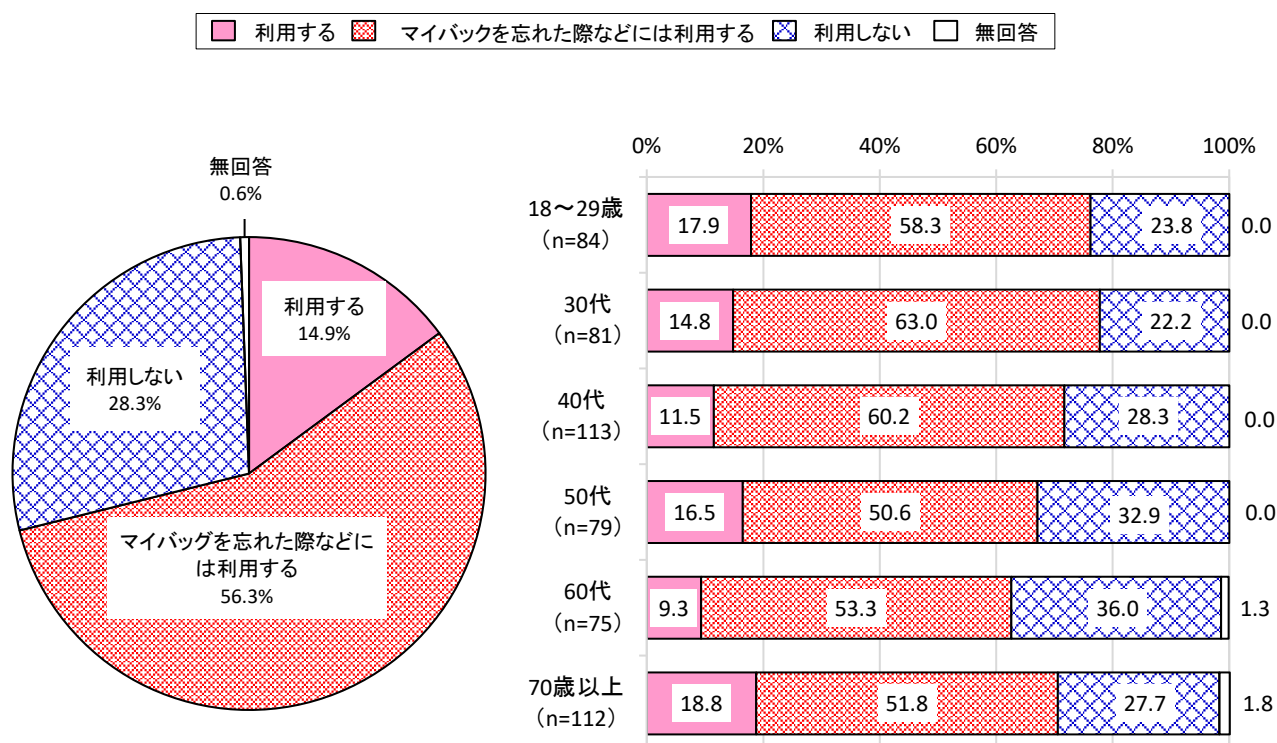


《がん検診の受診の有無(年代別)》 ※(1)～(3)は過去1年間、(4)(5)は過去2年間で女性のみ回答。



③「家庭ごみ」について(N=544)

《家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋(ふくレジ)※を利用するか》



※ふくレジとは

近年、レジ袋の有料化を受けてマイバッグの普及が進む一方で、プラスチックごみの1つであるレジ袋がいまだに福岡市内で年間2,600トン(1人あたり年間約160枚)捨てられていることから、福岡市内でゴミ出しに使えるレジ袋「ふくレジ」を発売開始しました。ご使用いただくことで、レジ袋1枚分のプラスチックごみ削減&節約に繋がります。

○販売場所: 福岡市内のコンビニエンスストア、スーパー、薬局など1,000店舗以上

○価格: 可燃用指定ごみ袋(小)15L 1枚15円 / (特小)10L 1枚10円



**福岡市内で
ごみ出しに使えるレジ袋**

① 店内で
ふくレジを購入



② 商品を入れて
お持ち帰り



③ ご家庭で
ごみ袋として使用



④ そのまま
ごみ出しOK



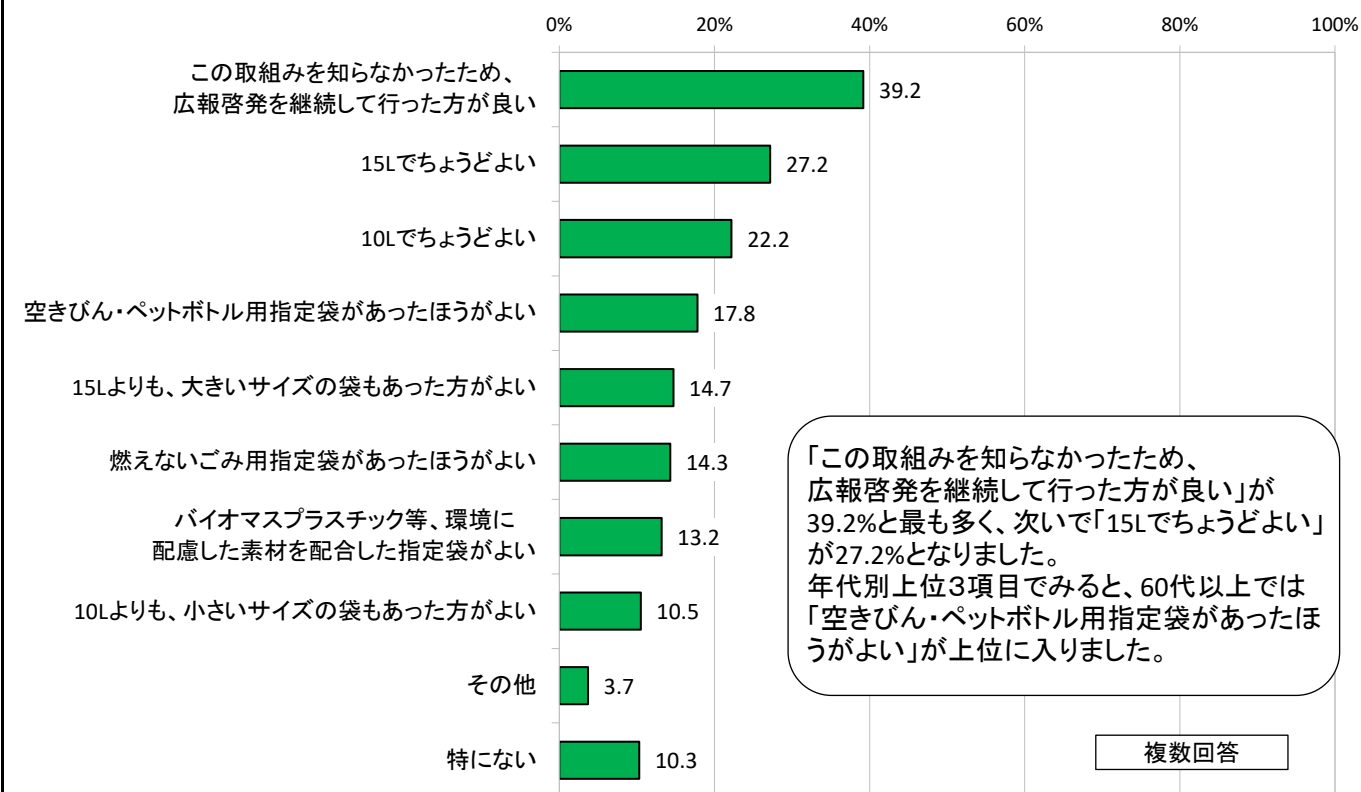
ふくレジ発売中

FaN
Fukuoka Art Next

アジアグリーンシティ 福岡へ
FUKUOKA NEXT

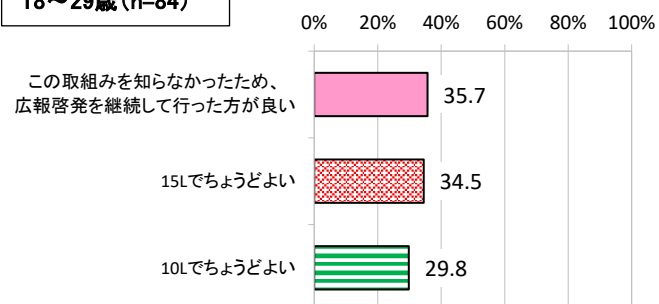
**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

《家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋(ふくレジ)について、どのように感じるか》

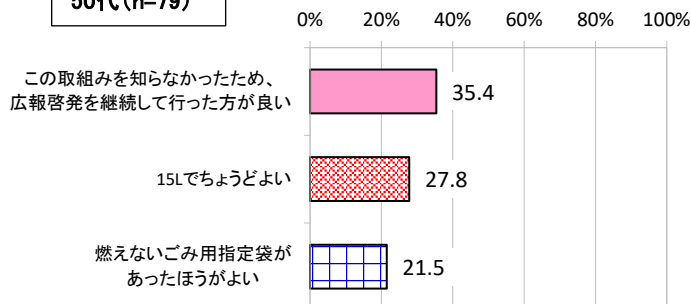


◆年代別上位3項目

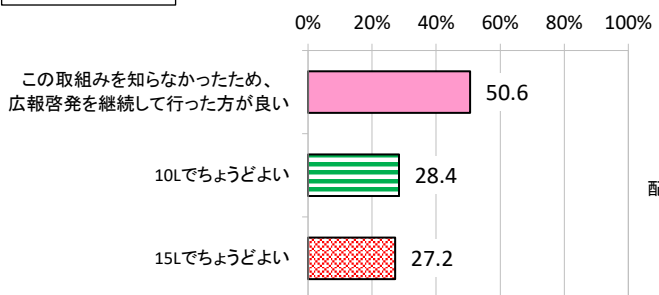
18～29歳 (n=84)



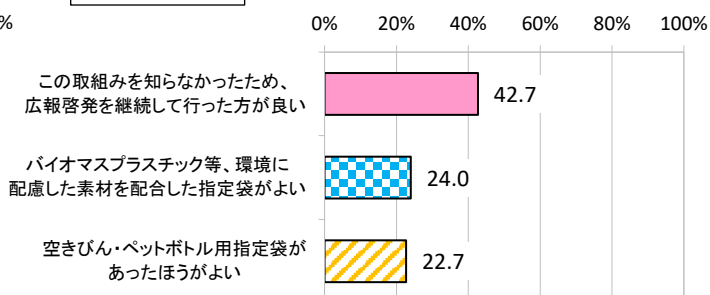
50代 (n=79)



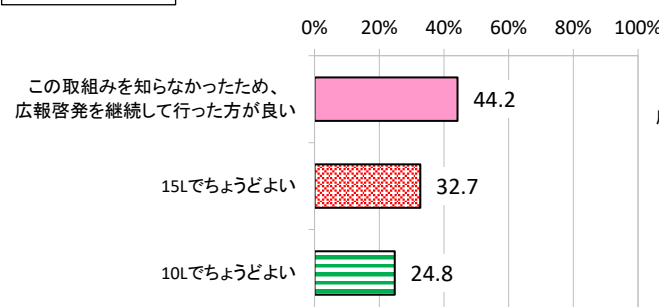
30代 (n=81)



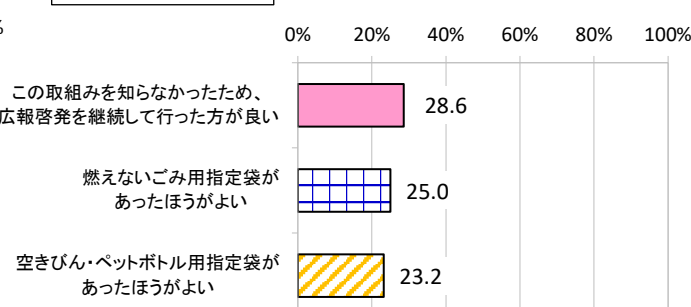
60代 (n=75)



40代 (n=113)

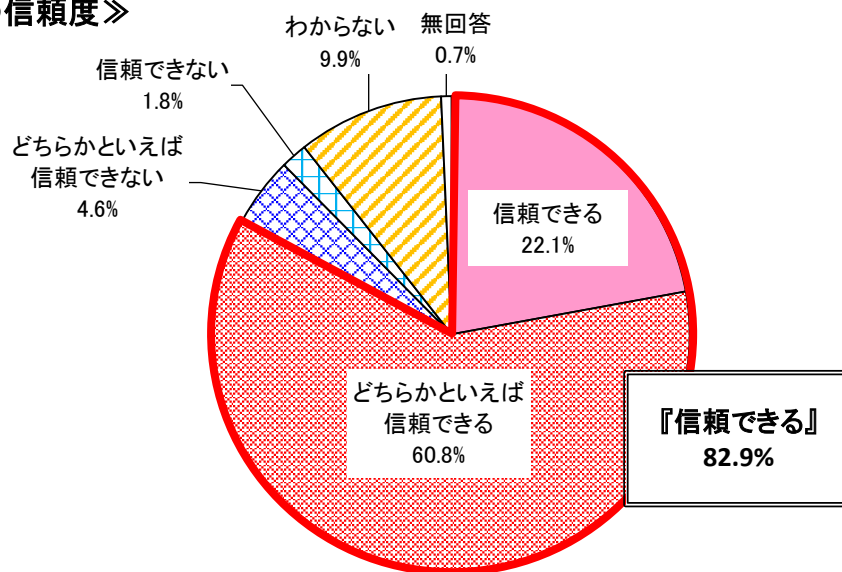


70歳以上 (n=112)



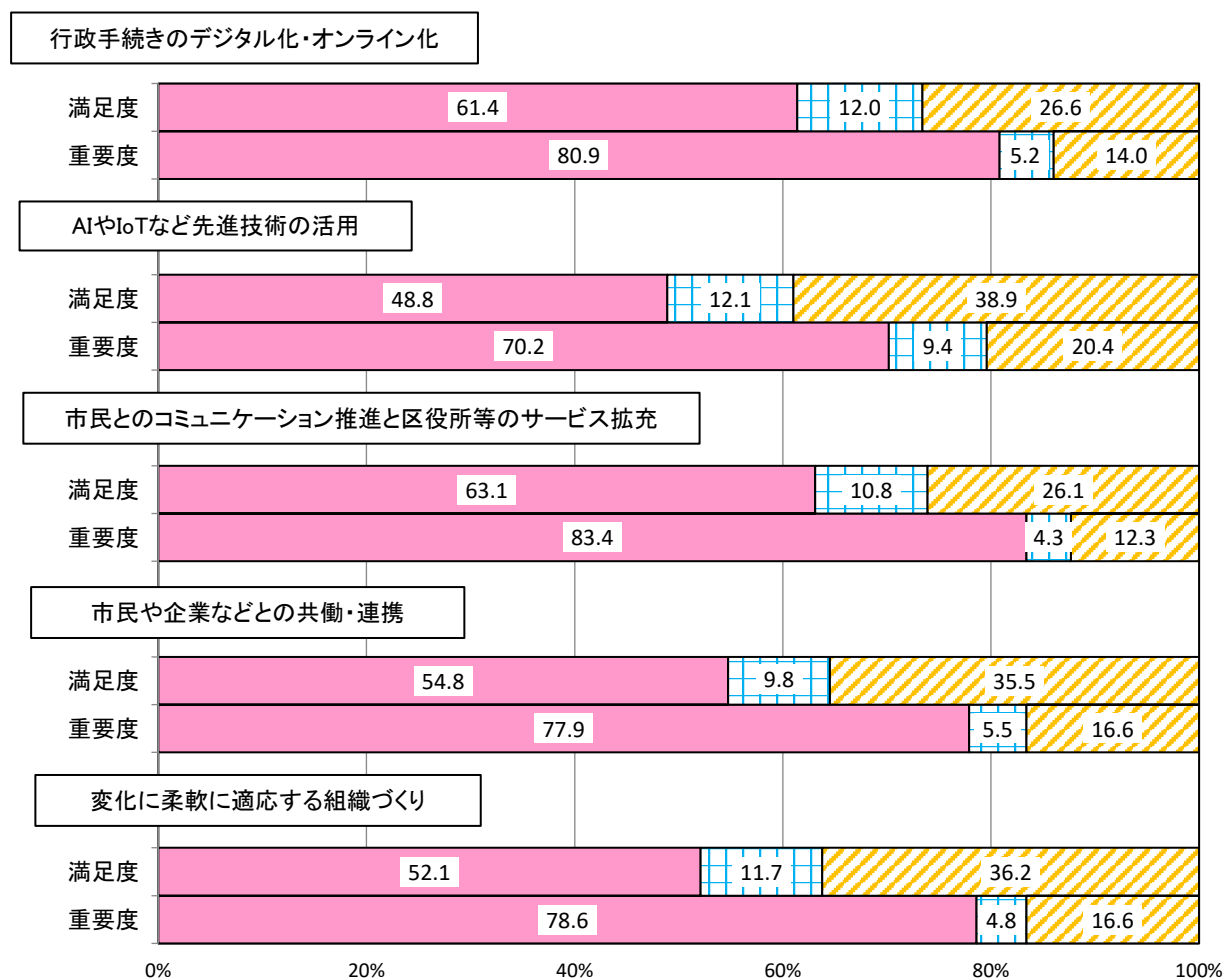
④「福岡市の行政運営の取り組み」について（N=544）

《福岡市政への信頼度》



《「効果的・効率的な行政運営」の取り組みについての満足度・重要度》

■ 『満足』・『重要である』
 ■ 『不満』・『重要ではない』
 ■ わからない・無回答



満足度は「市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充」が63.1%と最も高く、次いで「行政手続きのデジタル化・オンライン化」が61.4%でした。重要度も「市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充」が83.4%と最も高く、次いで「行政手続きのデジタル化・オンライン化」が80.9%となりました。

第5回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和6年10月7日～10月21日
■調査数	636件
■回答数	544件
■有効回答率	85.5%

1. 「熱中症対策」について

(担当課：環境局 環境保全課)

2. 「がん検診」について

(担当課：保健医療局 地域保健課)

3. 「家庭ごみ」について

(担当課：環境局 計画課
環境局 ごみ減量推進課
環境局 収集管理課)

4. 「福岡市の行政運営の取り組み」について

(担当課：総務企画局 行政マネジメント課)

調査協力員番号	
---------	--

※ 調査協力員番号は 封筒の宛名シール に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

お名前	
-----	--

(提出期限) 10月21日(月) までにポストに投函してください。

<注意事項>

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

<メールでの市政アンケート調査案内をご希望の方>

下記二次元コードより（１）～（３）をご入力の上、送信してください。

※すでに登録済みの方は登録不要です。

- （１）「調査協力員番号（６桁）」
- （２）「生年月日」
- （３）「メールアドレス」



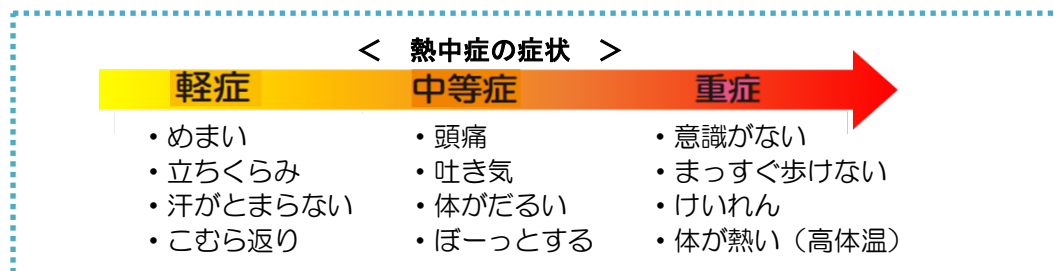
<https://questant.jp/q/3UI294ZLfukuokacity>

- ・ご登録いただいたメールアドレスに確認メール送信いたします。
確認メールが届きましたら、メールアドレス登録手続きは終了です。
- ・確認メールが届かない場合、迷惑メールフォルダなどの確認をお願いします。
引き続き、郵送にて案内を行いますが、アンケートへの回答は紙の調査票にある二次元コードからでも可能です。
- ・【締め切り期限】
調査実施月の前月 10 日を締め切りとしております。
例) 10 月 10 日までに手続き→第 6 回（11 月調査実施分）から電子メールにて案内

《 「熱中症対策」 について 》

毎年、熱中症で多くの方が救急搬送されており、令和5年は福岡市内でも832人が救急搬送されました。熱中症は予防行動をとることで未然に防ぐことができ、発症しても適切な応急手当をすることで重症化を防ぐことができます。

問1 熱中症は、室温や気温が高い状態で体温調節が働かなくなり、さまざまな症状が現れます。熱中症の症状について、下の図の症状12項目のうち、どの程度知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=544) 無回答 0.2



- | | |
|-------------------|------|
| 1 よく知っていた（9～12個） | 59.4 |
| 2 半分程度知っていた（5～8個） | 32.7 |
| 3 あまり知らなかった（1～4個） | 6.6 |
| 4 全く知らなかった | 1.1 |

問2 あなたは、これまで、熱中症になったかなと思ったときにどのような行動をとりましたか。あてはまるものをすべて選んでください。 (N=544) 無回答 0.2

- | | |
|----------------------|------|
| 1 様子を見た、特に何もしなかった | 4.6 |
| 2 水分補給をした | 76.5 |
| 3 塩分補給をした | 40.8 |
| 4 体を冷やした | 37.9 |
| 5 涼しい場所へ移動した | 58.8 |
| 6 休息をとった | 55.0 |
| 7 その他（具体的に：） | 1.5 |
| 8 熱中症のような症状になったことがない | 17.5 |

問3 熱中症対策として、下記のうちどれに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (N=544) 無回答 0.2

- | | |
|--------------------------|------|
| 1 エアコンや扇風機を使う | 91.0 |
| 2 こまめに水分や塩分補給をする | 93.8 |
| 3 栄養や睡眠を十分にとる | 56.3 |
| 4 周囲の温度・湿度を確認する | 40.1 |
| 5 日頃から運動する | 18.9 |
| 6 外に出かけるときは日傘や帽子を利用する | 61.9 |
| 7 涼しい服装にする | 50.4 |
| 8 熱中症に気を付けるよう家族や知人に声をかける | 42.1 |
| 9 上記のいずれにも取り組んでいない | 0.4 |

問4 どのようなときに熱中症対策の必要性を意識しますか。特にあてはまるものを1つだけ選んでください。(N=544) 無回答 5.5

- | | | |
|---|-------------------|------|
| 1 | 暑いと感じてから | 35.3 |
| 2 | 天気予報などで聞いてから | 39.3 |
| 3 | 人から対策するよう言われてから | 0.6 |
| 4 | 熱中症警戒アラートが発表されたとき | 16.2 |
| 5 | その他（具体的に：　　　　　） | 1.8 |
| 6 | 意識しない | 1.3 |

問5 気温・湿度・暑さ指数（熱中症の発生しやすい目安）など、その日の熱中症予防の参考となる情報をどこで手に入れていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=544) 無回答 0.2

- | | | |
|----|---|------|
| 1 | テレビ | 81.8 |
| 2 | ラジオ | 12.3 |
| 3 | 新聞 | 13.4 |
| 4 | 福岡市ホームページ（熱中症情報・暑さ指数情報） | 7.2 |
| 5 | 福岡市防災メールまたは福岡市公式 LINE(ライン) | 12.9 |
| 6 | SNS（フェイスブック、インスタグラム、エックス（旧ツイッター）） | 13.8 |
| 7 | スマートスピーカー※ ¹ やスマートフォンの機能、アプリなど | 17.8 |
| 8 | インターネット（上記「4」～「7」を除く） | 26.1 |
| 9 | 温度計・湿度計 | 26.8 |
| 10 | 家族や知人などから | 14.0 |
| 11 | その他（具体的に：　　　　　　） | 0.7 |
| 12 | 手に入れていない | 0.7 |

※1 スマートスピーカー（AIスピーカー）とは
対話型の音声操作に対応した AI アシスタント機能を持つスピーカー。
内蔵されているマイクで音声を認識し、情報の検索や連携家電の操作を行う。

問6 熱中症の危険性が高い日に発表される熱中症警戒アラート※²及び熱中症特別警戒アラート※³を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=544) 無回答 0.6

- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | どちらも知っている | 56.8 |
| 2 | 熱中症警戒アラートのみ知っている | 29.6 |
| 3 | 熱中症特別警戒アラートのみ知っている | 0.7 |
| 4 | どちらも知らなかった | 12.3 |

※2 熱中症警戒アラートとは

県内 12 地点ある、暑さ指数情報提供地点のうち一つでも暑さ指数の予測値が 33 に達すると予測される場合に発表されます。

※3 熱中症特別警戒アラートとは

県内 12 地点のすべての暑さ指数情報提供地点で翌日の暑さ指数の予測値が 35 に達すると予測される場合に発表されます。

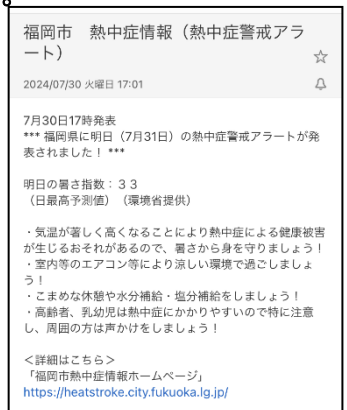
問7 熱中症の危険性が高い日に、登録者に対して福岡市公式 LINE(ライン)及び福岡市防災メールが配信されることを知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=544) 無回答 0.6

- | | |
|--------------------------|------|
| 1 どちらも知っている | 20.4 |
| 2 福岡市公式 LINE(ライン)のみ知っている | 13.1 |
| 3 福岡市防災メールのみ知っている | 9.6 |
| 4 どちらも知らない | 56.4 |



福岡市公式 LINE(ライン)



福岡市防災メール

問8 福岡市では令和6年度に、気温が高くなる夏の暑い時期に、商業施設や、公共施設などの涼しく過ごせる施設（クールシェアスポット）を利用することで熱中症を予防する取組み「クールシェアふくおか」を実施しましたが、知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=544) 無回答 0.2

- | | | | |
|-------------------------|------|---|------|
| 1 知っていて、クールシェアスポットを利用した | 5.7 | → | 問9へ |
| 2 知っているが利用しなかった | 33.8 | → | 問10へ |
| 3 知らなかった | 60.3 | → | 問11へ |

実施場所：公民館、薬局、商業施設等

実施期間：6月24日～9月30日



問9 《問8で「1」と回答した方におたずねします。》

クールシェアスポットの場所をどのように知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

(n=31) 無回答 -

- | | | |
|---|--|------|
| 1 | 福岡市ホームページ（熱中症情報）に掲載の施設一覧表 | 22.6 |
| 2 | 福岡市 Web まっぷ（福岡市の行政情報や地域情報をインターネットを通して公開、提供するサイト） | 6.5 |
| 3 | クールシェアふくおか涼み処マップ（紙媒体）（各区役所、市民センター、情報プラザなどで配布） | 16.1 |
| 4 | 家族や知人などから聞いた | 9.7 |
| 5 | のぼりやステッカー等の目印 | 45.2 |
| 6 | 立ち寄ったところがクールシェアスポットであった | 54.8 |
| 7 | その他（具体的に： ） | 3.2 |

問 10 《問8で「2」と回答した方におたずねします。》

クールシェアスポットを知っているが利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=184) 無回答 1.6

- | | | |
|---|-----------------------------|------|
| 1 | どこにクールシェアスポットがあるのかわからなかったから | 37.0 |
| 2 | 入りづらかったから | 6.0 |
| 3 | 時間がなかったから | 17.4 |
| 4 | 混んでいたから | 1.6 |
| 5 | 施設内が涼しくなかったから | 1.6 |
| 6 | 利用する必要性を感じないから | 52.7 |
| 7 | その他（具体的に： ） | 9.2 |

《「がん検診」について》

がんは日本人の死因の第1位で、生涯のうちに約2人に1人ががんにかかると推計されています。がんの対策は、生活習慣の改善によるがん予防と、がん検診による早期発見・早期治療が最も重要なことから、福岡市では、「胃がん」「肺がん」「大腸がん」などの検診を行っています。

問11・問12 あなたは過去1年間（(4)(5)及び胃カメラについては過去2年間）に、下記の5つのがん検診を（問11）受診したことがありますか。また、その際は、（問12）どのような検診事業で受診しましたか。（1）～（5）のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

※(4)(5)については女性の方のみお答えください。

※「（問11）受診の有無」で「ない」と回答した検診については、（問12）に回答する必要はありません。

		問11			問12						
		受診の有無			検診事業						
		ある	ない	無回答	職場の定期健康診断	人間ドック	福岡市が実施するがん検診	入院・通院先の病院で治療の一環として受けた	その他	わからない（覚えていない）	無回答
(1)胃がん検診 バリウムによるレントゲン撮影や内視鏡（胃カメラ）による撮影など	過去1年間 (胃カメラは過去2年間)	(N=544)			(n=253)						
		46.5	52.6	0.9	46.2	17.0	8.7	18.6	7.5	-	2.0
(2)肺がん検診 胸のレントゲン撮影や喀痰（かたん）検査など		(N=544)			(n=270)						
		49.6	46.7	3.7	57.0	12.2	8.1	13.3	4.8	0.4	4.1
(3)大腸がん検診 便潜血検査（検便）など	過去2年間	(N=544)			(n=243)						
		44.7	52.6	2.8	49.4	14.8	10.7	13.6	9.5	-	2.1
《女性の方のみご回答ください。》 (4)子宮頸がん検診 子宮頸部粘膜の細胞診検査など		(n=293)			(n=140)						
		47.8	48.1	4.1	27.9	7.9	23.6	23.6	14.3	1.4	1.4
《女性の方のみご回答ください。》 (5)乳がん検診 マンモグラフィ撮影など		(n=293)			(n=116)						
		39.6	56.0	4.4	28.4	12.1	22.4	14.7	18.1	1.7	2.6

※複数回受診したことがある場合は、直近のものをお答えください。

問11で1つでも「2」と回答した方は問13へ
問12で1つでも「3」と回答した方は問14へ

《「家庭ごみ」について》

福岡市では、ごみ処理基本計画として「循環のまち・ふくおか推進プラン」を策定し、「みんなでつくろう！活力ある未来へつなぐ『循環のまち・ふくおか』」のテーマのもと、古紙、プラスチックごみ、食品廃棄物を重点3品目と位置づけ、3R（スリーアール）※の取組みを推進しております。

※①リデュース（発生抑制）、②リユース（再使用）、③リサイクル（再生利用）の頭文字をとったもので、循環型社会の実現に向けて、①から③の優先順位で取り組むことが重要です。

問 15 過去1年間、あなたのご家庭では、ごみ減量・リサイクル（3R）のために下記のうちどのようなことに取り組んでいますか。あてはまるものをすべて選んでください。

(N=544) 無回答 0.2

- | | |
|---|------|
| 1 過剰包装を断ったり、簡易包装の商品を購入したりしている | 38.1 |
| 2 計画的な買い物を心掛け、必要以上の商品は買わないようにしている | 31.1 |
| 3 買い物の際はレジ袋を断っている（マイバッグの持参など） | 80.9 |
| 4 詰め替え用製品を買うようにしている | 72.2 |
| 5 再生素材の製品を選ぶようにしている | 6.1 |
| 6 水筒などのマイボトルを持ち歩いている | 57.5 |
| 7 地域で行われている集団回収に資源物（古紙や空き缶など）を出している | 52.8 |
| 8 区役所や地域の回収ボックスに資源物を出している | 34.7 |
| 9 生ごみは水分を絞ってから捨てている | 36.6 |
| 10 不要になったものはリユースショップ※ ⁵ に持ち込んでいる | 26.7 |
| 11 不要になったものはリユースアプリ（フリマアプリ）等 Web 上のサービスを使って販売・譲渡している。 | 16.4 |
| 12 取り組んでいない | 1.3 |

問 17 へ

※5 リユースショップについて

リユースショップとは、中古品を取り扱う店舗のことで、リサイクルショップとも言われています。条件に合えばリユース品（中古品）として買取ってくれます。

【リユースについて】

問 16 《問 15 で「10」「11」を選択しなかった方におたずねします。》

リユースショップやリユースアプリ（フリマアプリ）等の Web 上のサービスを利用しない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=340) 無回答 4.7

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 どのリユースショップやリユースアプリが良いかわからない | 30.9 |
| 2 どこにリユースショップがあるかわからない | 22.4 |
| 3 家の近くにリユースショップがない | 16.2 |
| 4 引き取ってくれるものが分からない | 25.9 |
| 5 持って行くのが面倒である | 48.5 |
| 6 知人等に譲っている | 11.2 |
| 7 アプリの利用方法がわからない | 17.4 |
| 8 その他（具体的に：) | 4.7 |
| 9 特に理由はない | 8.5 |

【プラスチックごみについて】

《 すべての方におたずねします。 》

問 17 区役所や地域交流センターなどの公共施設にて無料で飲料水を補給できる「給水スポット」や、利用者が持参したマイボトルに水などの飲料を提供するサービスを行うお店「マイボトル協力店」を利用したことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=544) 無回答 0.6

- | | |
|----------------------|------|
| 1 どちらも利用したことがある | 3.3 |
| 2 給水スポットを利用したことがある | 7.2 |
| 3 マイボトル協力店を利用したことがある | 2.4 |
| 4 利用したことはない | 86.6 |

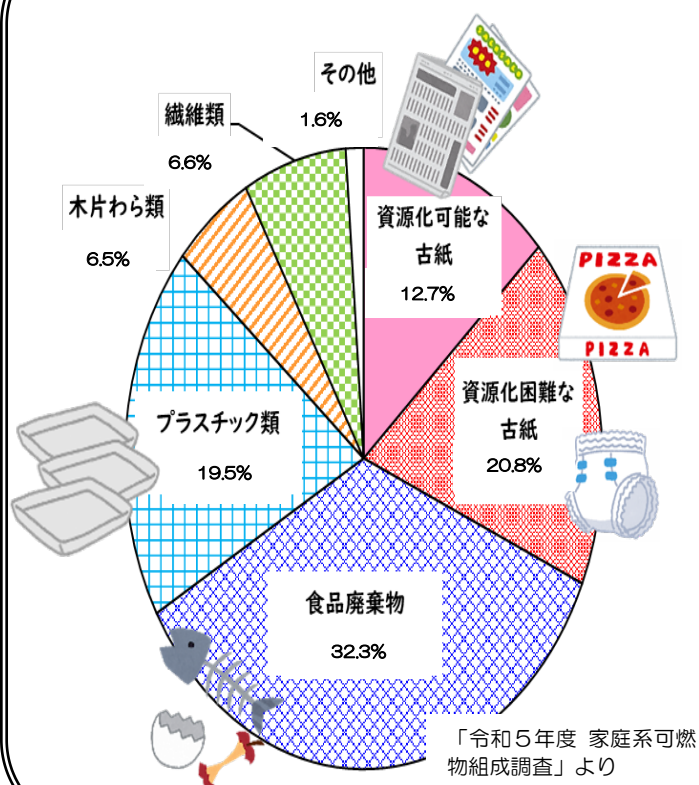
【古紙について】

《 すべての方におたずねします。 》

問 18 あなたの家庭で、下記の古紙のうち、「燃えるごみ」として週2回の収集日に出しているものはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (N=544) 無回答 1.1

- | | | |
|--------------------------------|------------|------|
| 1 雑がみ（お菓子の空き箱など、新聞紙・段ボール以外の古紙） | 問 19 へ | 49.6 |
| 2 新聞紙 | } → 問 20 へ | 8.3 |
| 3 段ボール | | 16.4 |
| 4 いずれも出していない（リサイクルしている） | | 40.1 |

【燃えるごみ（家庭ごみ）の内訳】



【雑がみについて】

「雑がみ」とは、新聞や段ボール以外のリサイクル可能な紙のことで、雑誌、本、パンフレット、お菓子やティッシューパーの紙箱、ラップやトイレトペーパーの紙芯、包装紙、封筒、はがきなどです。雑がみは、紙袋などに集めて、地域集団回収や資源物回収拠点に持ち込むことでリサイクルできます。

(n=2 7 0) 無回答 -

- | | | |
|---|----------------------------------|------|
| 1 | リサイクルできることを知らなかったから | 33.0 |
| 2 | 雑がみの種類や回収場所など出し方がわからないから | 37.8 |
| 3 | 回収場所が生活圏内にないから | 10.0 |
| 4 | 回収場所は生活圏内にあるが「燃えるごみ」は家の前に出せて楽だから | 21.9 |
| 5 | 分別するのが手間だから | 26.7 |
| 6 | 近くの回収場所が持っていけるときに開いてないから | 5.9 |
| 7 | 雑がみを集める「紙袋」がないから | 6.7 |
| 8 | 発生する量が少ないから | 34.8 |
| 9 | その他（具体的に：　　　　　　　） | 3.3 |

問 20 現在、あなたのご家庭で最も多く利用している古紙の回収方法は、下記のうちどれですか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=544) 無回答 2.6

- | | | | |
|---|--|------|---|
| 1 | 地域（町内会や子ども会、マンション管理組合など）で行われている
集団回収※6 | 35.1 | } |
| 2 | 公園や公民館などに設置している紙リサイクルボックスや校区紙リ
サイクルステーション※6 | 17.8 | |
| 3 | 区役所などの公共施設の資源物回収ボックス | 5.3 | |
| 4 | スーパーやホームセンターなどの店舗での回収 | 7.7 | |
| 5 | 民間の事業者が設置している 24 時間受け入れ可能な古紙回収ボックス | 15.3 | |
| 6 | いずれも利用していない | 16.2 | |

問 22 ^

現在、あなたのご家庭で古紙をリサイクル回収場所へ持ち込んでいる手段は、下記のうちどれですか。最も多く利用しているものを1つだけ選んでください。 (n=442) 無回答 0.7

- | | | |
|---|-----------------------|------|
| 1 | 自宅の前（マンションの敷地内を含む）に置く | 29.2 |
| 2 | 徒歩で持っていく | 26.7 |
| 3 | 自転車、バイクで持っていく | 3.6 |
| 4 | 車で持っていく | 39.4 |
| 5 | 他の人（親族、知人など）に持ってってもらう | 0.5 |
| 6 | その他（具体的に：　　　　　） | - |

《 すべての方におたずねします。 》

1	買い物の前に冷蔵庫を確認して、余分なものを買わないようにしている	60.8
2	買い物リストを作っている	32.9
3	量り売りやばら売りを利用している	6.1
4	食材宅配サービスを利用し、必要な分だけ買うようにしている	5.9
5	必要な分だけ作るようにしている	37.1
6	食材を無駄なく使いきるようにしている	52.4
7	食べ残さないようにしている	56.4
8	作り過ぎた物は冷凍保存している	47.6
9	食べきれない物は人にあげるようにしている	4.0
10	食べきれない物はフードドライブ※ ⁷ に持って行くようにしている	1.5
11	賞味期限を過ぎてても、風味を確認して食べている	44.1
12	その他（具体的に：　　　　　　　）	0.6
13	特にない	2.2

食品の流れ

寄付 提供

家庭 → フードバンク団体 → 必要としている方々

1 知っており、持って行ったことがある	5.0
2 知っているが、持って行ったことはない	50.6
3 知らない	44.1

1	知っており、使ったことがある	→	問 25 へ	9.0
2	知っているが、使ったことはない	}	→	問 26 へ
3	知らない			
				23.0

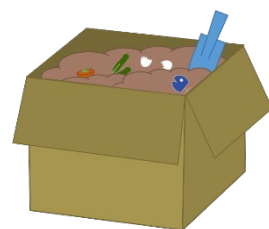
あなたが、過去1年以内に使用したコンポストはどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(n=49) 無回答 -

- | | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 設置型（庭にプラスチック容器などを埋め込んだもの） | 26.5 |
| 2 | プラスチックなど容器型 | 22.4 |
| 3 | 段ボール型 | 8.2 |
| 4 | バッグ型 | 10.2 |
| 5 | 電動型 | 2.0 |
| 6 | その他（具体的に： ） | - |
| 7 | 過去1年は使用していない | 36.7 |

コンポストとは、生ごみや落ち葉などを微生物の働きで発酵分解させてたい肥化する装置やそのたい肥のことを指します。自然の力を使っごみを減らすことができる環境にやさしい取り組みです。庭や畑に埋め込む設置型のほか、埋め込まずに使用できる容器型、ベランダや玄関先でも使用できる段ボール型やバッグ型、屋内で使用できる電動型など、住宅事情を問わず手軽にできるコンポスト装置が増えています。



設置型コンポスト



段ボールコンポスト

問 26 福岡市では、飲食店での食べ残しや小売店での売れ残りを減らし、廃棄されるごみを減らす「みんなでフードロスゼロ！おいしい福岡エコ運動」を推進しています。あなたは、この運動の名称やその内容を知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=544) 無回答 0.6

- | | | |
|---|---------------------|------|
| 1 | 名称も内容も知っていた | 12.5 |
| 2 | 名称は知っていたが、内容は知らなかった | 11.8 |
| 3 | 名称は知らなかったが、内容は知っていた | 9.6 |
| 4 | 名称も内容も知らなかった | 65.6 |

日本国内で発生する食品ロスは、年間約 472 万トン（※令和 4 年度農林水産省 推計値）で、国民一人あたり毎日おにぎり 1 個分のごはんを捨てていることに相当します。福岡市では、食品ロス削減に取り組んでいる飲食店や小売店を「福岡エコ運動協力店」として登録し、協力店を紹介するウェブサイトを開設するなど様々な啓発を行っています。



【 有料指定袋について 】

福岡市では平成17年に家庭ごみの有料化を実施しました。有料指定袋は、燃えるごみ用、燃えないごみ用、空きびん・ペットボトル用の3種類あります。袋のサイズは、燃えるごみ用と燃えないごみ用は45L・30L・15Lの3種類、空きびん・ペットボトル用は45Lと30Lの2種類あり、全種類1パック10枚入りです。

また、令和6年11月から、コンビニやスーパー等で家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋10Lと15Lを販売する取組みを予定しています。

問 27 福岡市では、令和6年1 1 月からコンビニやスーパー等で家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋 10L と 1 5L を発売開始します。あなたはこれらを利用しますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=5 4 4) 無回答 0.6

- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 利用する | 14.9 |
| 2 | マイバッグを忘れた際などには利用する | 56.3 |
| 3 | 利用しない | 28.3 |

問 28 家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋について、どのように感じますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=544) 無回答 0.4

- | | | |
|----|--|------|
| 1 | 10 L でちょうどよい | 22.2 |
| 2 | 15 L でちょうどよい | 27.2 |
| 3 | 10 L よりも、小さいサイズの袋もあった方がよい | 10.5 |
| 4 | 15 L よりも、大きいサイズの袋もあった方がよい | 14.7 |
| 5 | 燃えないごみ用指定袋があったほうがよい | 14.3 |
| 6 | 空きびん・ペットボトル用指定袋があったほうがよい | 17.8 |
| 7 | バイオマスプラスチック※ ⁹ 等、環境に配慮した素材を配合した指定袋がよい | 13.2 |
| 8 | この取組みを知らなかったため、広報啓発を継続して行った方が良い | 39.2 |
| 9 | その他（具体的に：　　　　　　　　　） | 3.7 |
| 10 | 特にない | 10.3 |

※9 バイオマスプラスチックについて

従来のプラスチックの原料である石油等の化石資源よりも比較的短いサイクル（１～１０年）で再生産することができる植物等の再生可能資源を使用するプラスチックのことです。温室効果ガスの排出抑制、枯渇性資源の使用削減といった、環境負荷削減効果があります。

≪「福岡市の行政運営の取り組み」について≫

福岡市では、将来にわたり持続可能な行政運営の実現に向け、行政運営の指針となる『行政運営プラン』を令和3年6月に策定しました。

このプランに基づき、「これからの時代にふさわしい行政サービスの提供とより効果的・効率的な行政運営の実現」をめざし、仕組みや発想、手法を見直すなど不断の改善を進めています。

これらの取り組みについて、市民の皆さまのご意見をお聴きし、今後の参考にしたいと考えております。
※プランの概要は、同封している『「福岡市の行政運営の取り組み」について』の5ページをご覧ください。

【福岡市の取り組みへの満足度・重要度】

福岡市の「これからの時代にふさわしい行政サービスの提供とより効果的・効率的な行政運営の実現」に向けた取り組みについての満足度・重要度についてお聴きします。

問29・30 次の(1)～(5)の取り組みについて、あなたの印象に最も近いものを、満足度・重要度からそれぞれ1つずつ選んでください。

A 現在の満足度・・・現在、その取り組みに対してどのくらい満足しているか

B 今後の重要度・・・今後、その取り組みがどのくらい重要と思うか

※参考として、同封している『「福岡市の行政運営の取り組み」について』の1～4ページをご覧ください。

	問29						問30					
	A 現在の満足度						B 今後の重要度					
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答	重要	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	わからない	無回答
(例) ○○○○○	1	②	3	4	5		①	2	3	4	5	
(1) 行政手続きのデジタル化・オンライン化 来庁の必要がないノンストップ行政の実現を目指し、行政手続きのデジタル化・オンライン化など、いわゆる「デジタルトランスフォーメーション※10」の取り組みを進めます。	15.1	46.3	8.5	3.5	24.4	2.2	39.5	41.4	3.7	1.5	11.4	2.6
(2) AI※11やIoT※12など先進技術の活用 データの収集・分析・可視化などを進めるとともに、市民サービスの迅速性・利便性を一層高めるため、AIやIoTなど先進技術を活用します。	11.9	36.9	9.0	3.1	36.9	2.0	27.4	42.8	7.0	2.4	18.2	2.2

(N=544)

(N=544)

	問 29						問 30					
	A 現在の満足度						B 今後の重要度					
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない	無回答	重要	どちらかといえば重要である	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	わからない	無回答
(3)市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充												
様々な広報媒体を活用し、必要な情報を必要としている方へわかりやすく届けるとともに、市民の声をしっかり受けとめ、身近な区役所や公共施設などでのサービス拡充に努めます。	12.7	50.4	7.7	3.1	25.0	1.1	37.1	46.3	3.7	0.6	9.7	2.6
(4) 市民や企業などとの共働 ^{※13} ・連携												
市民、地域コミュニティ、企業、NPO ^{※14} 、大学、他の自治体などをつながり支えあい、最適な役割分担のもとでそれぞれの強みを活かしながら、様々な行政課題の解決や新たな価値の創造に取り組みます。	11.2	43.6	8.1	1.7	34.6	0.9	29.6	48.3	4.4	1.1	14.0	2.6
(5) 変化に柔軟に適應する組織づくり												
コンプライアンス ^{※15} を推進するとともに、職員が最大限の力を発揮できる環境づくりと人材育成を進めるなど、チャレンジすることを恐れず、急激な社会経済情勢の変化にも柔軟に適應することができる、しなやかな組織づくりを進めます。	11.8	40.3	8.6	3.1	35.3	0.9	36.0	42.6	4.4	0.4	14.0	2.6

※10 デジタルトランスフォーメーション：データやデジタル技術を活用したビジネスモデル等の変革。

※11 AI：〔Artificial Intelligence〕：人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。

※12 IoT：〔Internet of Things〕：様々なモノが通信機能を持ち、インターネットを介して相互に通信することにより、遠隔計測、自動制御などが行われること。

※13 共働：相互の役割と責任を認め合いながら、対等な立場で知恵と力を合わせて共に行動すること。

※14 NPO：〔Nonprofit Organization〕：政府・自治体や企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで、医療・福祉、環境、国際協力・交流など社会的な公益活動を行う民間非営利組織・団体。法人格を持たない団体、ボランティア団体を含む。

※15 コンプライアンス：法令や社会的な倫理、規範を守って行動するという考え方。

【 行政全体への信頼度 】

福岡市では、「住みやすいまち」と評価される福岡市の魅力や活力を維持し、将来にわたって発展させていくために、「これからの時代にふさわしい行政サービスの提供とより効果的・効率的な行政運営の実現」をめざし、仕組みや発想、手法を見直すなど不断の改善を進めています。

問 31 これらの取り組みを総合して、福岡市の行政全体についてあなたは信頼できると思いますか。
あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=544) 無回答 0.7

1 信頼できる	22.1
2 どちらかといえば信頼できる	60.8
3 どちらかといえば信頼できない	4.6
4 信頼できない	1.8
5 わからない	9.9

【 自由意見 】

問 32 福岡市が行う「これからの時代にふさわしい行政サービスの提供とより効果的・効率的な行政運営の実現」に向けた取り組みのうち、評価できる、進んでいると思う具体的な取り組みがありましたら、ご自由にお書きください。

問 33 将来にわたり福岡市が発展していくため、「これからの時代にふさわしい行政サービスの提供とより効果的・効率的な行政運営の実現」に向けて、もっと力を入れて取り組むべきであると思うものがありましたら、ご自由にお書きください。

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。
記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にて
ご返送をお願いします。

標本構成（第5回）（N = 5 4 4）

◆性別

男性	46.1
女性	53.9

◆年齢

18～29 歳	15.4
30 代	14.9
40 代	20.8
50 代	14.5
60 代	13.8
70 歳以上	20.6

◆職業

正社員・正職員	38.4
契約社員・派遣社員・嘱託	6.1
パート・アルバイト	14.5
会社等役員	1.8
自営業・家族従事者	4.8
専業主婦・専業主夫	13.6
学生	5.1
無職	14.2
その他	1.5

◆行政区

東区	21.9
博多区	12.9
中央区	13.8
南区	16.2
城南区	7.5
早良区	14.5
西区	13.2

◆居住年数

3 年未満	12.1
3 年以上 5 年未満	5.0
5 年以上 10 年未満	11.0
10 年以上 20 年未満	21.9
20 年以上 30 年未満	16.0
30 年以上	34.0

◆居住形態

持家の戸建て	34.4
持家の集合住宅	25.9
賃貸の戸建て	2.6
賃貸の集合住宅	34.4
社宅・寮	2.8
その他	-

◆18 歳未満の同居家族

いる	34.4
いない	60.1
無回答	5.5

◆65 歳以上の同居家族

いる	38.1
いない	61.4
無回答	0.6

◆回答方法

郵送	40.6
インターネット	59.4

令和6年度市政アンケート調査

「福岡市の行政運営の取組み」について

【参考資料】

これからの時代にふさわしい効果的・効率的な行政運営に向けた主な取組み

福岡市では、「行政運営プラン」に基づき、「これからの時代にふさわしい行政サービスの提供とより効果的・効率的な行政運営の実現」に向けた取組みを進めております。主な取組みの実施状況等をお知らせします。

取組方針1 《スマート》迅速で便利なサービスへの転換

(1)行政手続きのデジタル化・オンライン化

➤ 来庁の必要がない、ノンストップ行政の実現を目指し、オンラインで申請できる手続きを拡充しています。また、行政手続きのデジタル化・オンライン化の妨げになるルールなどは、市民目線に立って見直し、利便性向上や行政事務の効率化を図りました。

- 令和4年度末までに90%以上の行政手続きのオンライン申請等を可能とする目標を達成
- 令和5年度は、オンラインで申請できる手続きの増加を図るとともに、使いやすい申請フォームとなるよう改善を実施

オンライン利用率(R5年度末):約 52.0%



- これまでの住民票等に加え、新たに**税務証明のコンビニ交付サービス**を令和6年1月に開始しました。
- **保育所の利用申し込みや継続入所などの手続きについて、オンライン化を推進しています。**
また、令和6年1月には、**保育所の利用申し込み結果と空き状況をインターネット上で確認できるサービス**をスタートし、子育て世帯の市民の皆様の利便性向上を図りました。
- **防災アプリ「ツナガル+（プラス）」**(平常時には近くの避難所の位置や設備、避難所へのルートを確認でき、災害時には避難所以外の避難場所からも、市に対し、物資支援などを要望できるアプリ)について、各避難所の混雑状況の表示やハザード情報の参照などの**機能追加**を行い、操作体験等を通じたアプリの利用促進を実施しています。

(2)AI※1やIoT※2 など先進技術の活用

- **市民一人ひとりの属性やニーズに合わせた情報をプッシュ型でお届けするなど、様々なサービスを提供する福岡市公式ポータルサイト「ふくおかサポート」について、プッシュ型の情報提供の拡充や地下鉄運行情報の配信を開始する等、サービス拡充を行いました。**
- **介護人材確保に向けて、介護ロボット導入支援、ICTツールのモデル導入等のDXの推進のほか、経営コンサルタント派遣による介護事業所等の経営力の強化等を支援しています。**
- **外出困難な重度障がい者等が、分身ロボットを遠隔操作し、自宅に居ながら、高齢者施設での業務のほか、新たに開拓する活躍先での就労にチャレンジする実証事業を行っています。**



- 公民連携ワンストップ窓口「mirai@（ミライアット）」を通じて、AI や IoT といった先端技術等を活用した実証実験や共働事業などの民間提案の支援により、社会実装を促進し、社会課題の解決や行政サービスの高質化・効率化に取り組みました。



- 福岡市内の屋台にIoT電球を設置することで、屋台のLINE公式アカウント「FUKUOKA GUIDE」に、その日の営業状況を表示する仕組みを構築しました。また、生成AIを活用した屋台検索機能を導入し、屋台DXに取り組みました。



取組方針2 《ぬくもり》多様なニーズに寄り添うサービスの提供

(3)市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充

- 各区役所の窓口において、市民サービス向上の取組みを行いました。
 - ご遺族の方が漏れなくスムーズに手続きができるよう、関係課と連携し「ご遺族のための手続きガイド」を更新
 - 外国人にも利用しやすい区役所となるよう、電話通訳や映像通訳、AI 多言語音声翻訳アプリを活用し、窓口において多言語対応を行うとともに、外国人向けの生活ガイド案内動画を活用した、生活ガイダンスを実施
- 安心して子育てができる環境づくりを進めています。
 - 0～2歳の子育て家庭を見守りながら定期的におむつ等をお届けするおむつと安心定期便や、第2子以降の保育料無償化を実施
 - 保護者の就労の有無に関わらず、保育所等に子どもを預けられる「福岡市型」こども誰でも通園制度」を令和6年7月に開始
 - 子どもプラザや保育所などで子育てに関する助言や情報提供などを行う「地域子育て相談窓口」を令和6年6月に開始
- 誰もがお互いを理解し、安心して笑顔で、自分らしく遊ぶことができるインクルーシブ※3な子ども広場の整備を行っています。
 - 令和6年5月に第1号となる百道中央公園の部分供用を開始
 - 令和6年度は新たに3か所(西南杜の湖畔公園・桧原運動公園・東平尾公園)の整備に着手予定
- アイランドシティはばたき公園の一部「野鳥観察の丘」が令和6年4月に開園しました。
- 希少動物の保護・種の保全を目的とした動物交流事業により、令和6年7月に福岡市動物園においてミャンマーからゾウを受け入れました。



(4)市民や企業などとの共働※4・連携

- 住民主体のコミュニティづくりの支援の一環として、自治協議会による共創のまちづくり活動への助成を拡充し、住民ニーズや地域課題に即した校区の取組みを支援するとともに、「担い手づくり」を推進しました。
- 地域活動などに対する感謝の気持ちとしてスマートフォンのアプリを通じてポイントをお渡しし、地域活動などの支援につなげる仕組みである地域ポイント事業「ふくおかポイント」の実証を進めています。

- 人生 100 年時代に向けたプロジェクト「福岡 100」を、産学官民“オール福岡”で推進しています。

- 「健康づくり」や「社会参加」など市民一人ひとりのチャレンジを応援する「福岡 100PARTNERS」と共にイベント等を開催し、産学官民一体となった福岡 100 推進の機運を醸成
- 認知症の人に優しさを伝えるコミュニケーションの技術である「ユマニチュード®」のさらなる普及促進のため、令和6年度は全小学校4年生へのユマニチュード講座等を実施するとともに、第6回日本ユマニチュード学会・福岡総会を共催
- 認知症フレンドリーシティ・プロジェクトの取組みを集約し国内外に発信する拠点「認知症フレンドリーセンター」を活用して相談・交流・体験・講座の開催など様々な取組みを展開



- まちに彩りと潤いを与え、人のつながりや心の豊かさを生み出す「一人一花運動」の輪を広げ、花による共創のまちづくりを進めています。「花で共創のまちづくり」の定着に向けて、植物園の改修とあわせて花の祭典などを展開します。

- 天神ビッグバンなど、まちが大きく生まれ変わっていく中で、緑豊かなまちづくりを推進するため、市民や企業との共働により、「都心の森1万本プロジェクト」(都心部をはじめとした全市域における植樹運動)を展開しています。



- 地域や企業と連携し、Fukuoka Green NEXT(みんなで守り・楽しみ・活かす都市・ふくおかの森づくり)に取り組んでいます。

- 油山牧場と油山市民の森を「人と都市と自然の共生」をテーマに一体的に整備した、複合体験型アウトドア施設「ABURAYAMA FUKUOKA」の全ての施設が開業
- 花粉発生源であるスギ・ヒノキ林の伐採や地域産材の利用拡大等を推進



- 脱炭素社会の実現に向けた「2040 年度温室効果ガス排出量実質ゼロ」へのチャレンジとして様々な取組みを進めています。

- 下水バイオガス由来の水素ステーションの運営や燃料電池自動車等の FC モビリティの導入促進、まちづくりへの水素実装など、「水素リーダー都市プロジェクト」の取組みを推進
- 次世代自動車の普及に向けた支援として、電気自動車・燃料電池自動車等の購入や充電設備設置に対する助成等を実施



- 九州大学箱崎キャンパス跡地については、地域と共に創り上げたグランドデザインの実現に向け、九州大学や地域などの関係者と連携をし、先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」に取り組んでいます。

- 産学官が連携し、Fukuoka Art Next(アートによる彩りにあふれたまち)の推進に取り組んでいます。

- アートのある暮らしとアートスタートアップを推進する
Fukuoka Art Next 事業を実施
- 小学校への貸切バス代等の助成により美術館での対話型アート館招待券を推進するほか、ワークショップを実施する等、子どもたちがアートを体験する機会を創出



取組方針3 《しなやか》変化に柔軟に適応する組織づくり

- 民間活用の推進や業務の集約化などの見直しによる減員を行うとともに、社会経済情勢の変化に柔軟に適応するため組織体制の充実・強化に取り組んでいます。
 - 各区役所にこども家庭センターを設置するなど、安心して生み育てられる環境づくりのための体制を強化
 - 救急需要の増加に的確に対応するため、城南消防署に救急隊を増隊するなど、消防・救急体制を充実・強化
- テレワーク環境の拡充やデジタル人材の育成強化などにより、業務効率化と生産性向上に関する取組みを一体的に推進する「働き方 DX」を実施しています。



- 定型的な作業を自動化する RPA※5や、AI を活用して音声を自動でテキスト化する「議事録作成支援サービス」を活用するなど、業務の効率化と生産性の向上を図りました。

RPA 活用事例:106 業務、議事録作成支援サービス利用件数(令和5年度):1,436 件

- 柔軟な発想のもと、業務の創意工夫に取り組みました。

- 訪問先での情報参照による丁寧な支援や、カメラ機能活用による書類受理事務の効率化を実現するために、一部業務の家庭訪問において、必要なセキュリティ対策を施したタブレット端末を導入
- 原付バイク等の市統一ナンバープレートを導入することで、市内間の住所変更及び名義変更においてナンバーの返納・再交付が不要となるなど、手続きの効率化を実現



※1 AI:〔Artificial Intelligence〕:人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。

※2 IoT:〔Internet of Things〕:様々なモノが通信機能を持ち、インターネットを介して相互に通信することにより、遠隔計測、自動制御などが行われること。

※3 インクルーシブ:包括的を意味する英単語であり、排除を意味する exclusion の対義語である。性別、人種、民族・国籍、出身地、社会的地位、障がいの有無により、排除されることなく包括・包含している様を表した言葉として使用される。

※4 共働:相互の役割と責任を認め合いながら、対等な立場で知恵と力を合わせて共に行動すること。

※5 RPA:〔Robotics Process Automation〕:パソコン上で行う定型業務を自動的に処理するアプリケーション。

行政運営プラン(令和3年6月策定)の概要

取組方針1 《スマート》迅速で便利なサービスへの転換	
これまでの行政サービスの提供方法を見直し、迅速で、利便性、効率性の高いサービスへ転換します。	
推進項目	① 行政手続きのデジタル化・オンライン化 来庁の必要がないノンストップ行政の実現を目指し、行政手続きのデジタル化・オンライン化など、いわゆる「デジタルトランスフォーメーション ¹ 」の取組みを進めます。
	② AIやIoTなど先進技術の活用 先進技術を活用したデータの収集・分析・可視化などを進めるとともに、市民サービスの迅速性・利便性を一層高めます。

取組方針2 《ぬくもり》多様なニーズに寄り添うサービスの提供	
市民一人ひとりのニーズに寄り添い、ぬくもりのある、これからの時代にふさわしいサービスを提供します。	
推進項目	③ 市民とのコミュニケーション推進と区役所等のサービス拡充 様々な広報媒体を活用し、必要な情報を必要としている方へわかりやすく届けるとともに、市民の声をしっかり受けとめ、身近な区役所や公共施設などでのサービス拡充に努めます。
	④ 市民や企業などとの共働・連携 市民、地域コミュニティ、企業、NPO ² 、大学、他の自治体などをつながり支えあい、最適な役割分担のもとでそれぞれの強みを活かしながら、様々な行政課題の解決や新たな価値の創造に取り組めます。

取組方針3 《しなやか》変化に柔軟に適応する組織づくり	
チャレンジすることを恐れず、急激な社会経済情勢の変化にも柔軟に適応することができる、しなやかな組織づくりを進めます。	
推進項目	⑤ 業務の効率性・生産性の向上 従来の手法や仕組みにとらわれることなく、ICT ³ の活用や業務の見直しなどに取り組み、業務の効率性と生産性を高めます。
	⑥ コンプライアンス ⁴ 推進と組織活性化 市民から一層信頼される市役所を目指し、コンプライアンスを推進するとともに、職員が最大限の力を発揮できる環境づくりと人材育成を進めます。

¹ デジタルトランスフォーメーション：データやデジタル技術を活用したビジネスモデル等の変革。

² NPO：〔Nonprofit Organization〕：政府・自治体や企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで、医療・福祉、環境、国際協力・交流など社会的な公益活動を行う民間非営利組織・団体。法人格を持たない団体、ボランティア団体を含む。

³ ICT：〔Information and Communication Technology〕：情報通信技術といい、情報・通信に関連する技術一般の総称。

⁴ コンプライアンス：法令等や社会的な倫理、規範を守って行動するという考え方。

令和6年度 市政アンケート調査 第6回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の市民644人(就任時)
- ①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 : 令和6年4月8日から令和7年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第6回調査の概要

- (1) 調査時期
- 令和6年11月5日から11月19日まで
- (2) 調査対象者数
- 636人
- (3) 回答者数
- 536人
- (4) 有効回答率
84. 3%
- (5) 調査テーマ
- ①「ユニバーサル都市・福岡」について
 - ②「外国人観光客のマナー」について
 - ③「食のユニバーサル」について
 - ④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について
 - ⑤「ユマニチュード®」について

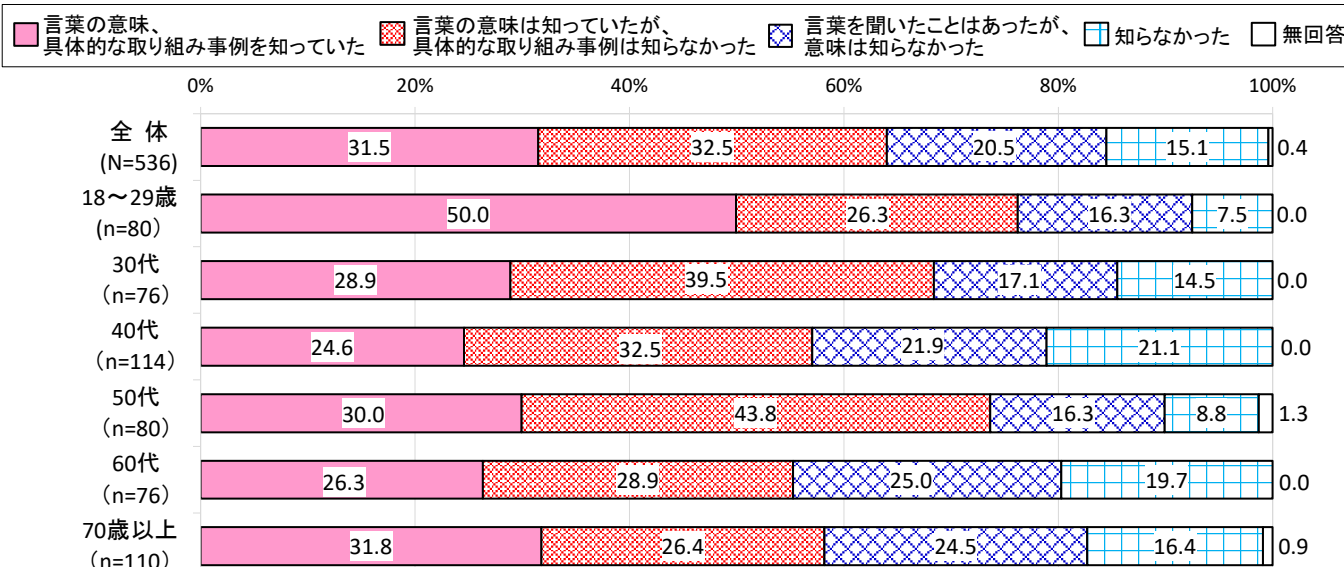
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「ユニバーサル都市・福岡」について(N=536)

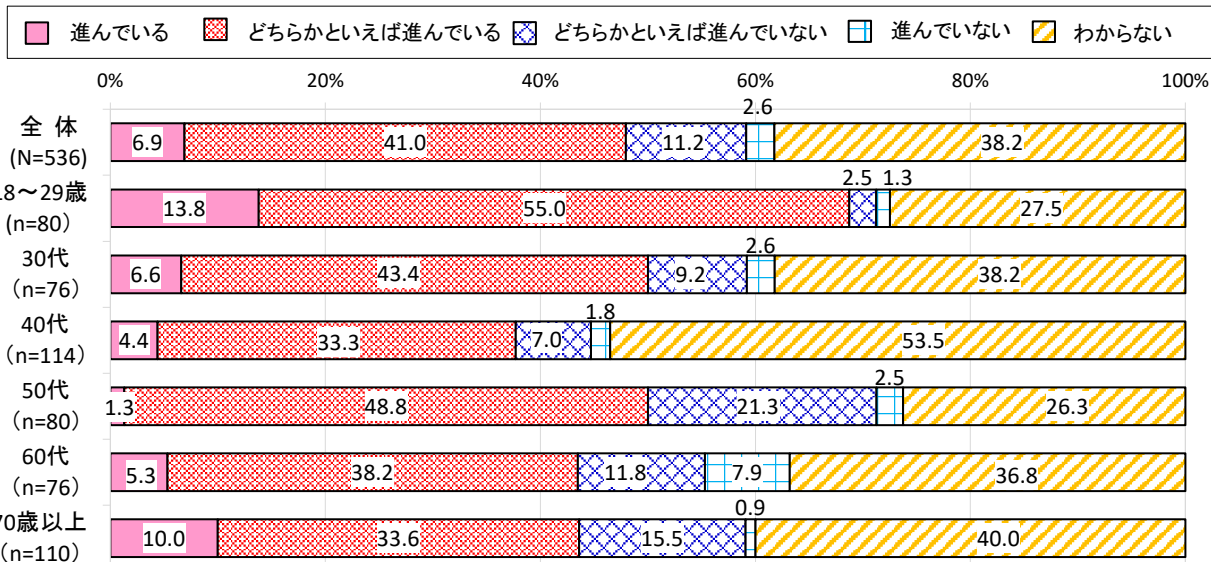
※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
例:『満足』=「満足している」+「どちらかといえば満足している」

《ユニバーサルデザインについてどの程度知っていたか》

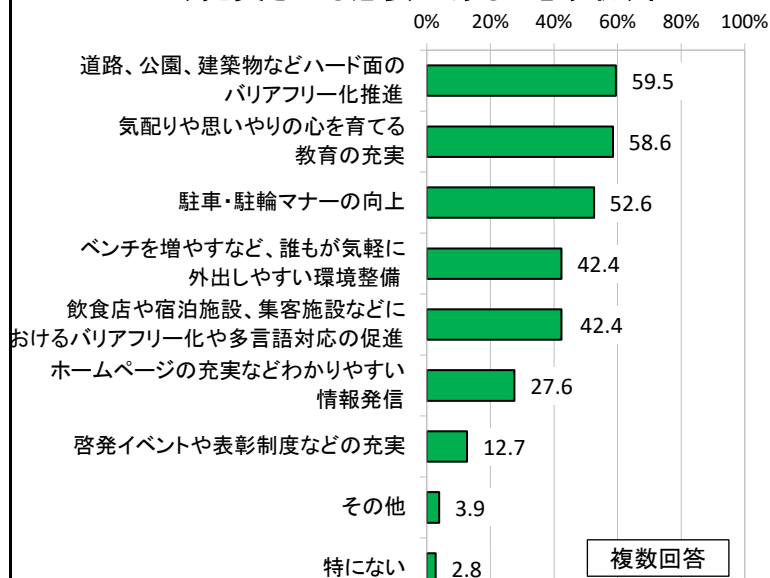


『知っていた』と回答した方は全体の64.0%でした。年代別にみると18～29歳で最も高く、76.3%となりました。

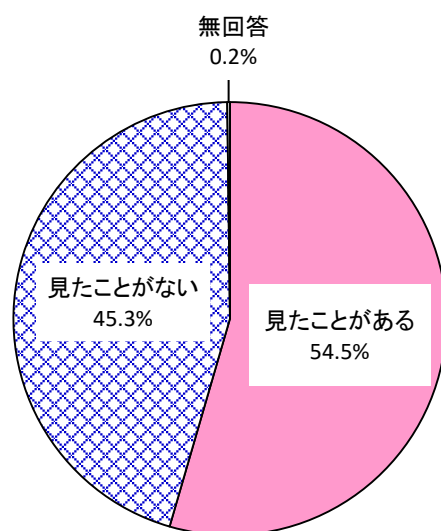
《福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思うか》



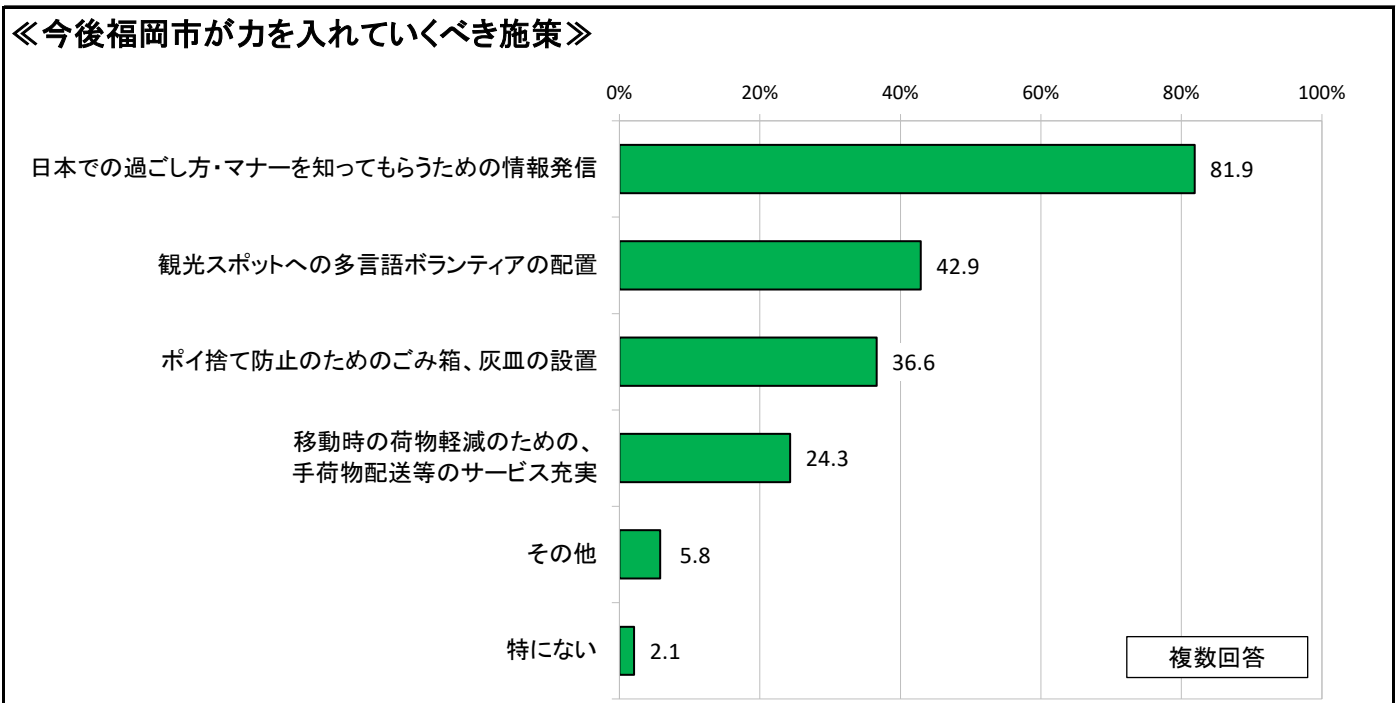
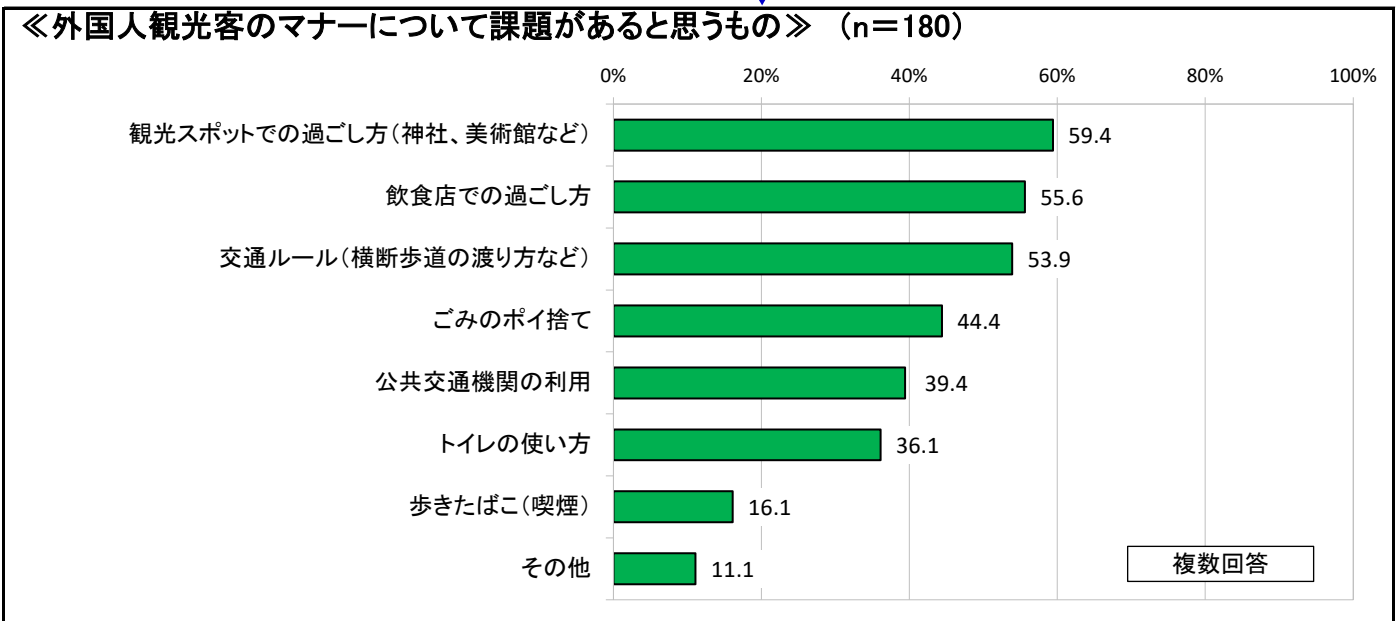
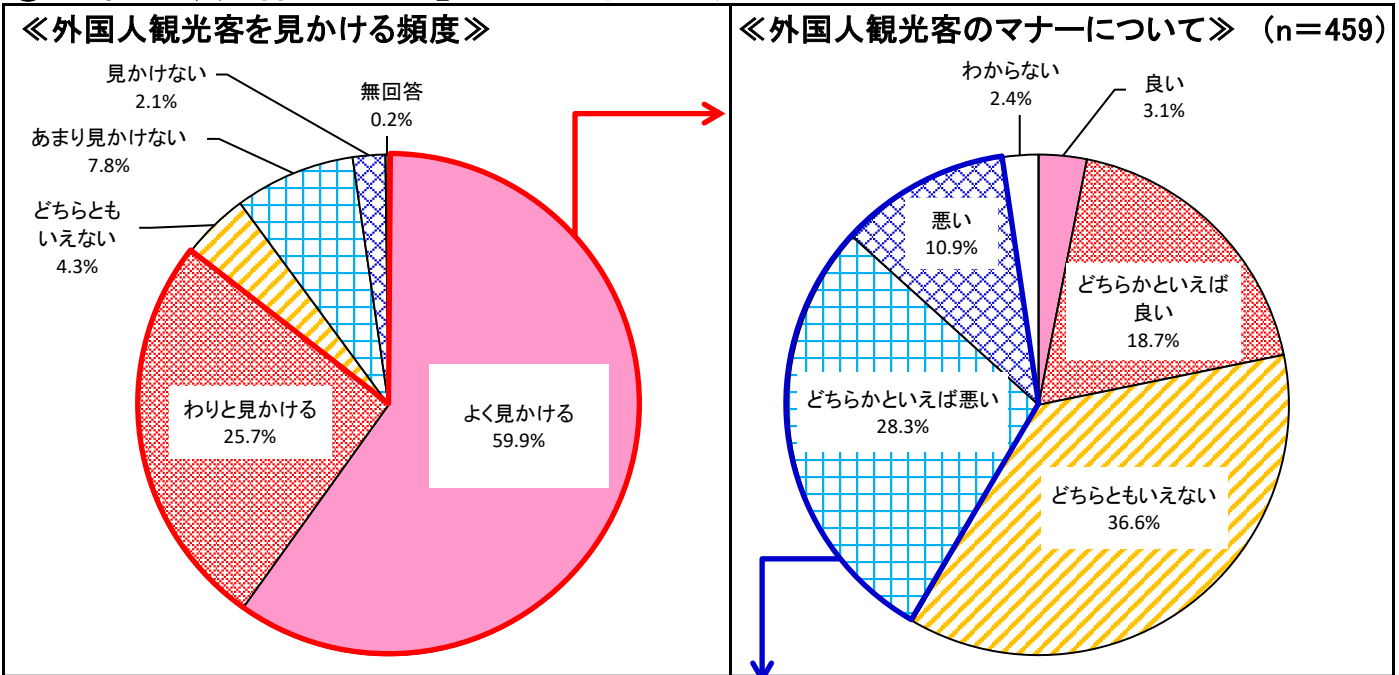
《「ユニバーサル都市・福岡」を実現するため、より充実させる必要があると思う取り組み》



《「ユニバーサル都市・福岡」のロゴマークを見たことがあるか》

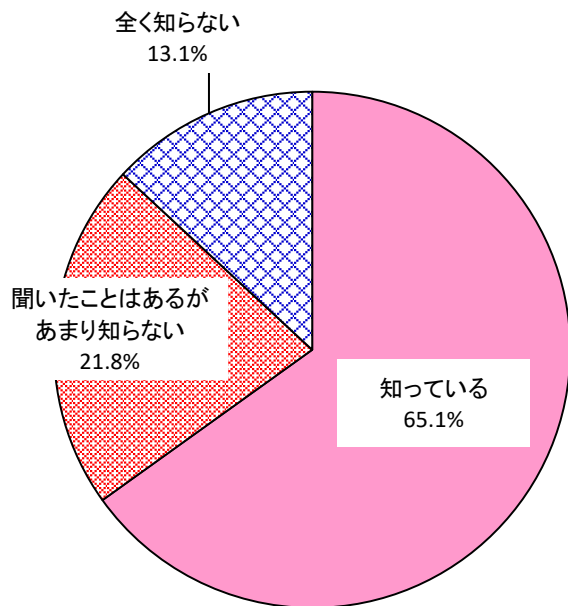


②「外国人観光客のマナー」について(N=536)



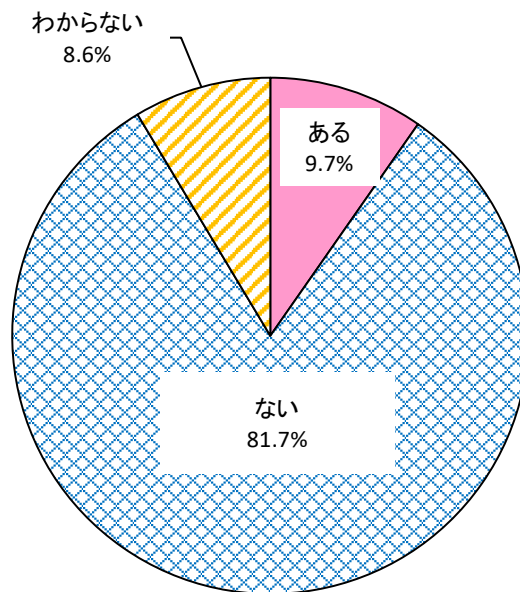
③「食のユニバーサル」について(N=536)

《ヴィーガン等の認知度》



《飲食店でのヴィーガン等の料理を

食べたことがあるか》

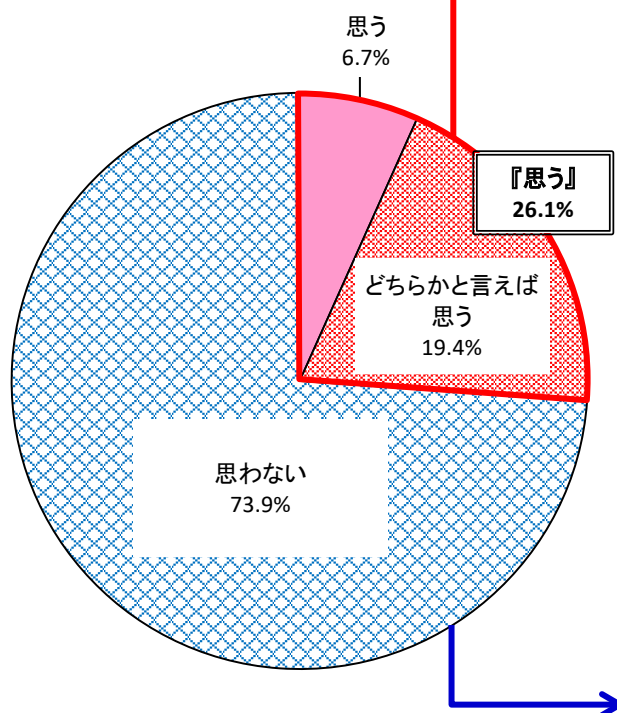


※ヴィーガン等とは

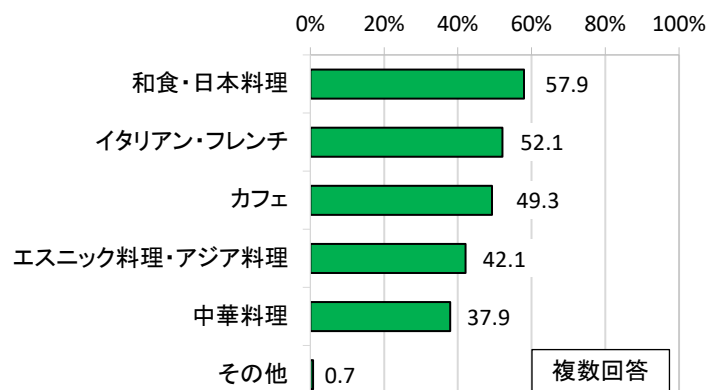
- ・ヴィーガン: 肉や魚介類のほか、卵製品や乳製品、蜂蜜を含めた動物性食品を一切口にしない人
- ・ベジタリアン: 肉や魚介類などの動物性食品を食べず、野菜などの植物性食品を食べる人
- ・ハラール: イスラム教で「許されたもの」を指します。食べ物の場合、豚肉やアルコール飲料などは禁じられています。

《ヴィーガン等対応の飲食店に

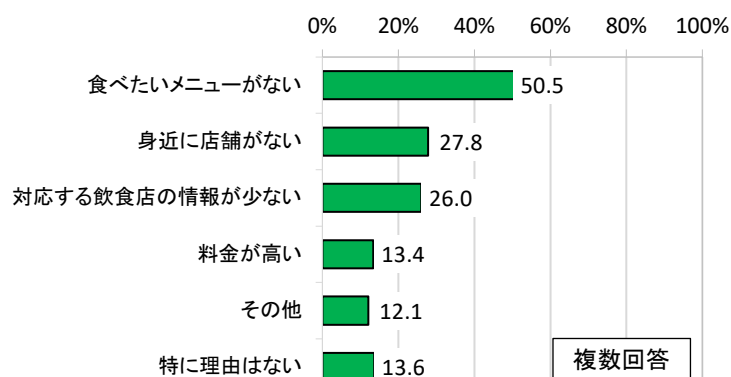
行ってみようと思うか》



《行ってみたいジャンル》 (n=140)



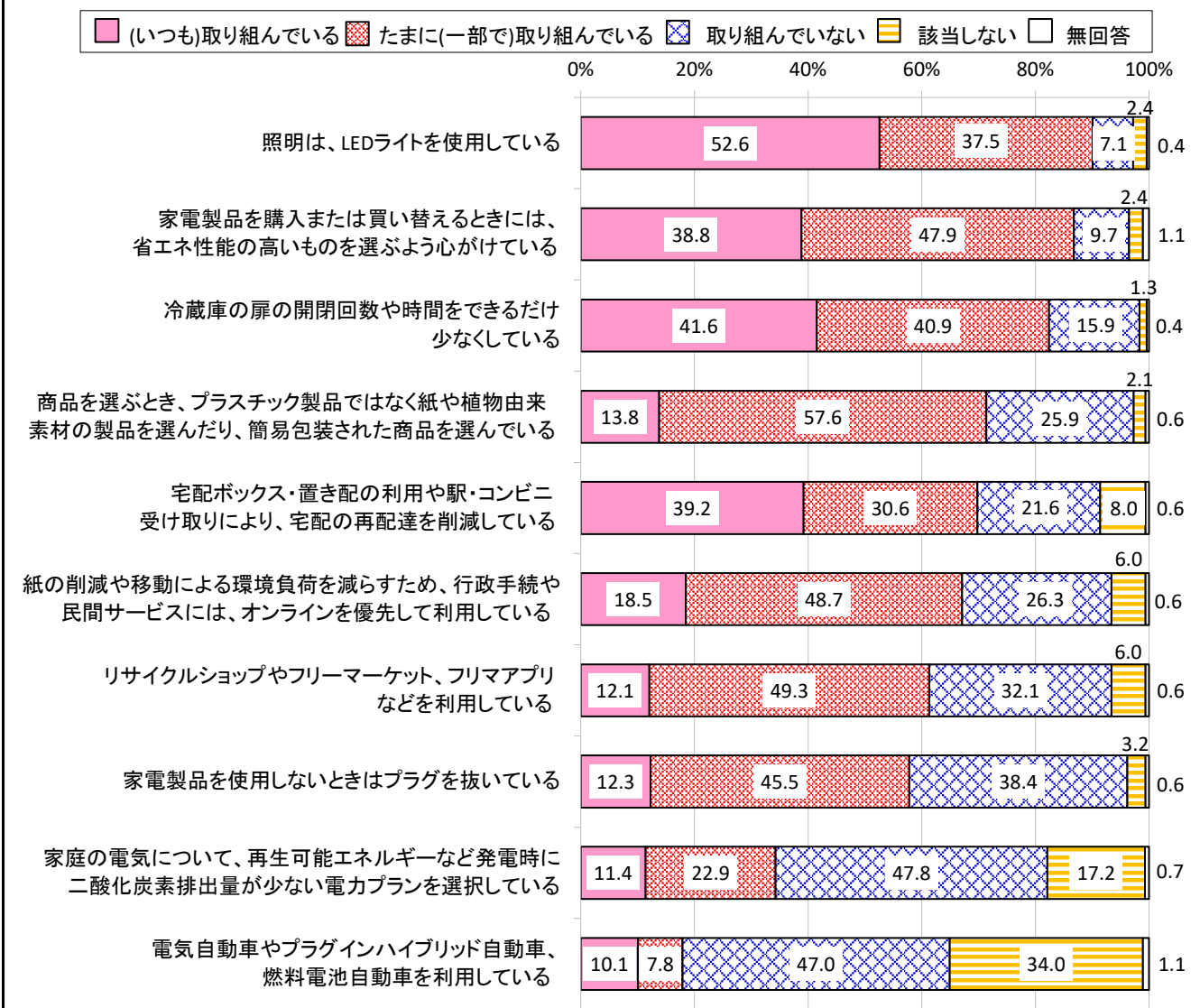
《「行ってみたいと思わない」理由》 (n=396)



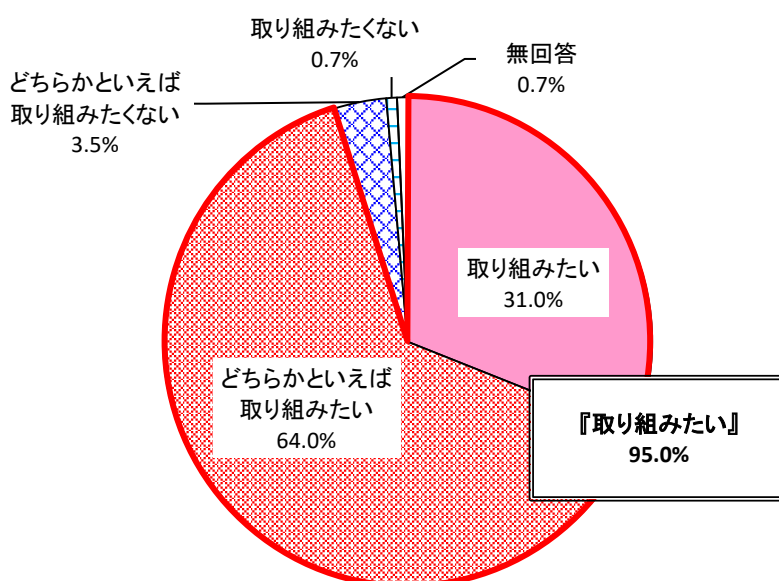
ヴィーガン等対応の飲食店に『行ってみようと思う』と回答した方の行ってみたいジャンルは「和食・日本料理」が57.9%、次いで「イタリアン・フレンチ」が52.1%となりました。一方、「行ってみたいと思わない」と回答した方の行ってみたいと思わない理由は「食べたいメニューがない」が50.5%となりました。

④「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について(N=536)

《脱炭素行動について》

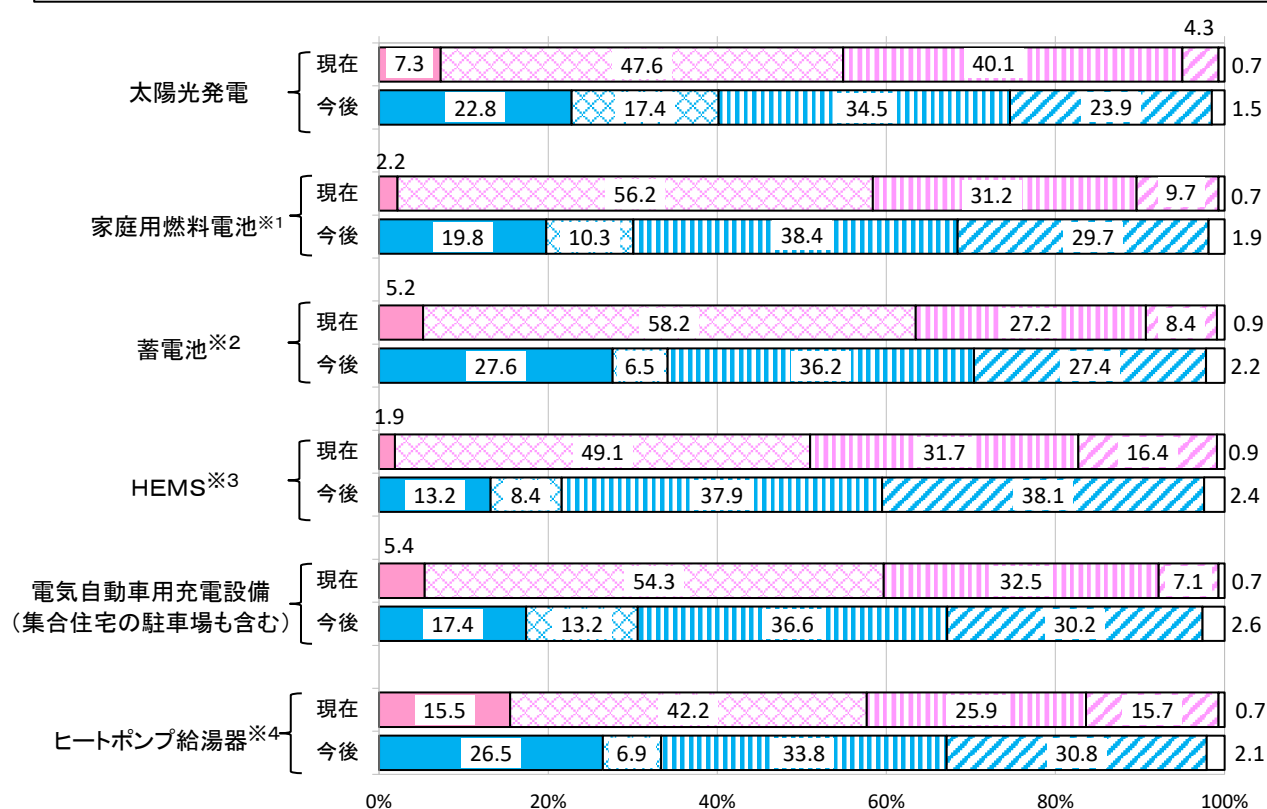


《脱炭素行動に取り組みたいと思うか》



《省エネ・再エネ設備の設置状況と今後の設置意向》

【現在】 ■ 設置している ■ 設置していない ■ 設置できない ■ わからない □ 無回答
 【今後】 ■ 設置したい ■ 設置したくない ■ 決めていない ■ わからない □ 無回答



※¹ 家庭用燃料電池（エネファーム）

：ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器

※² 蓄電池

：電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器

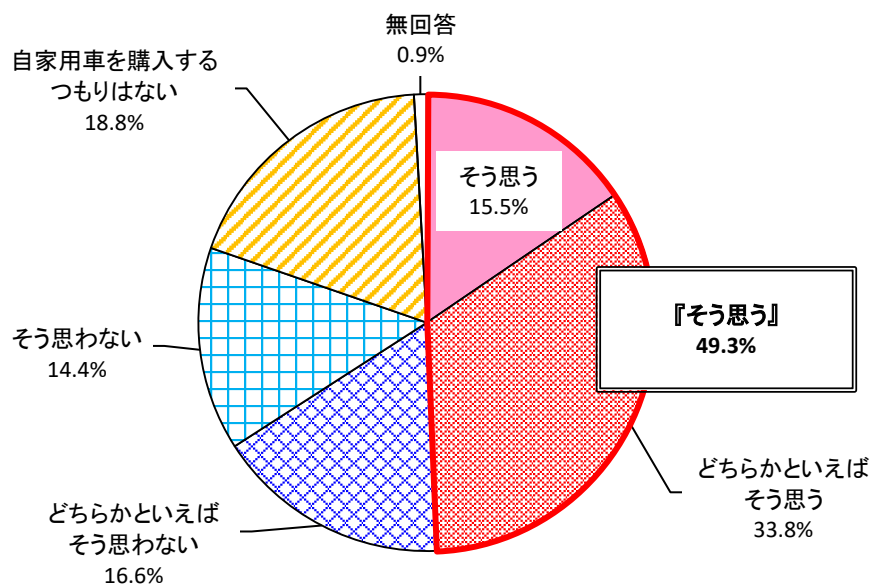
※³ HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）

：電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム

※⁴ ヒートポンプ給湯器（エコキュート）

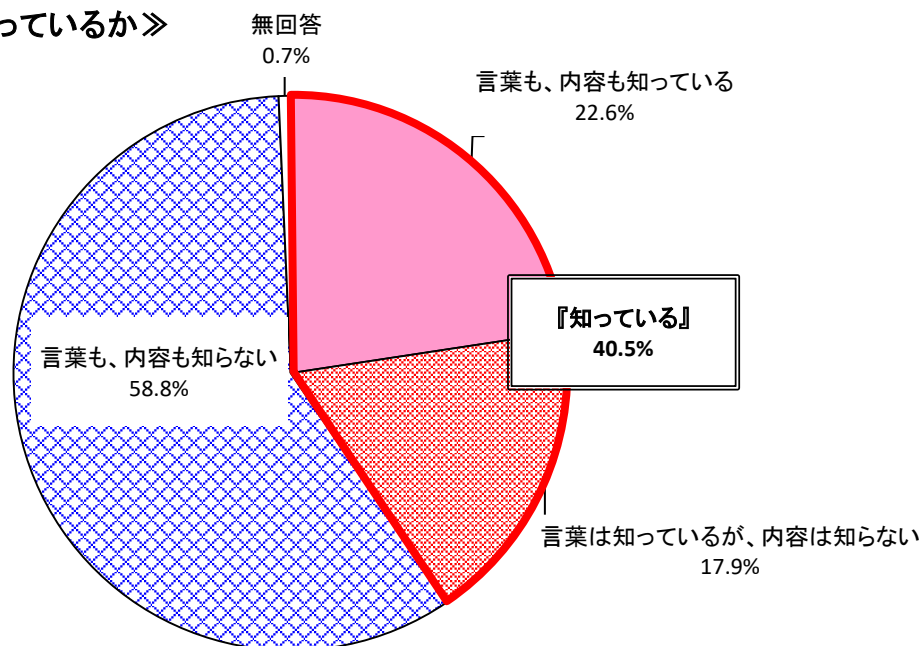
：空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

《自家用車の購入・買い替え時に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思うか》



⑤「ユマニチュード®」について(N=536)

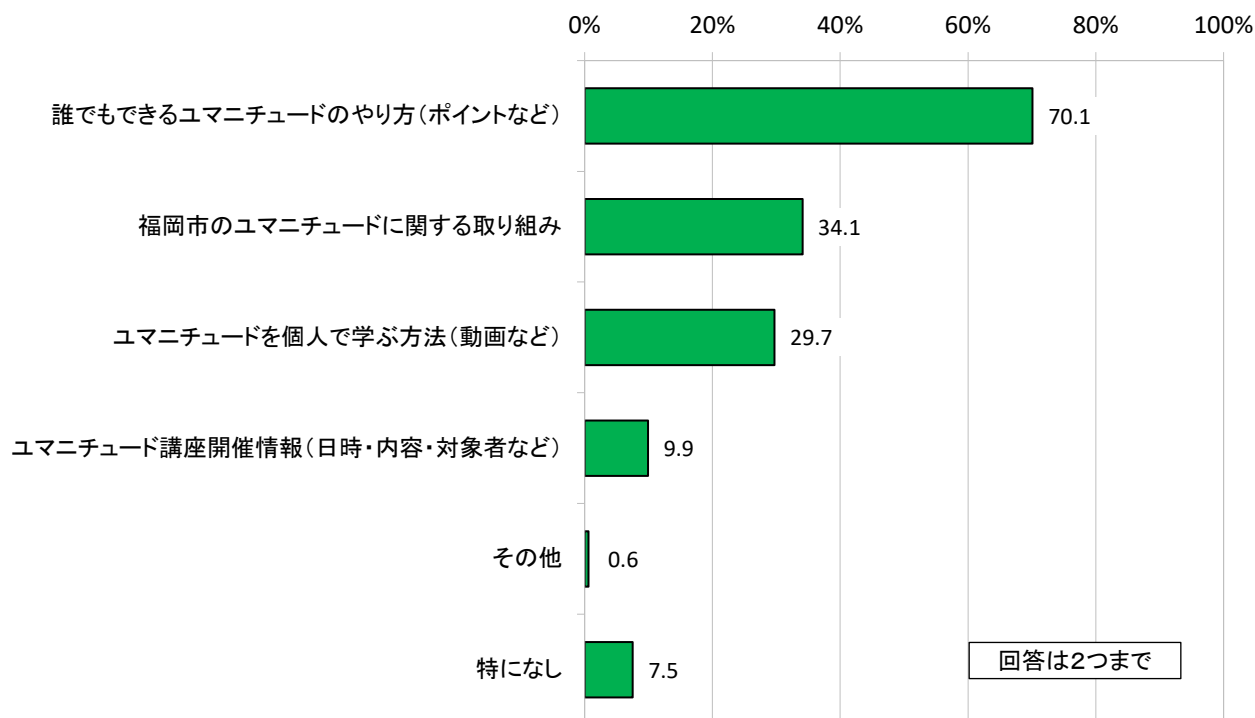
《「ユマニチュード」を知っているか》



※ユマニチュードについて

ユマニチュードは、認知症の方に届けたいサポートをうまく受け取ってもらうための具体的な技術と、「なぜそれを行うのか」という考え方(哲学)からできています。
 ユマニチュードでは、「あなたのことを大切に思っています」ということを相手が理解できる形で伝えるため、「見る」「話す」「触れる」「立つ」という4つの基本の柱を定めています。

《ユマニチュードについてどのような情報がほしいか》



「誰でもできるユマニチュードのやり方(ポイントなど)」と回答した方が70.1%と最も多く、次いで「福岡市のユマニチュードに関する取り組み」が34.1%という結果になりました。

第6回市政アンケート調査

〔テーマ・担当課〕

■調査期間	令和6年11月5日～11月19日
■調査数	636件
■回答数	536件
■有効回答率	84.3%

1. 「ユニバーサル都市・福岡」について
(担当課：総務企画局 企画調整部)
2. 「外国人観光客のマナー」について
(担当課：経済観光文化局 クルーズ課)
3. 「食のユニバーサル」について
(担当課：経済観光文化局 クルーズ課)
4. 「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について
(担当課：環境局 脱炭素社会推進課)
5. 「ユマニチュード[®]」について
(担当課：福祉局 ユマニチュード推進課)

調査協力員番号	
---------	--

※ 調査協力員番号は 封筒の宛名シール に記載しております。

(返信用封筒右上に記載されている「501」ではありませんのでご注意ください。)

お名前	
-----	--

(提出期限) 11 月 19 日 (火) までにポストに投函してください。

＜注意事項＞

○ご記入いただいた個人情報は、市政アンケート調査の集計のために利用した上で、個人情報保護に関する法令などに基づき適正に管理いたします。

○提出期間を過ぎて提出されると、皆さまからの貴重なご意見を集計結果に反映できなくなりますので、**提出期限は厳守**いただきますようお願いいたします。

○回答方法（選択肢の番号に○をつけてください。）

例) ① 知っている 2 知らない

《「ユニバーサル都市・福岡」について》

福岡市は、ユニバーサルデザイン※の理念に基づいた、誰もが思いやりをもち、すべての人にやさしいまち「ユニバーサル都市・福岡」の実現をめざして、普及、啓発に取り組んでいます。

「ユニバーサル都市・福岡」を実現するためには、市民の皆さまに共感いただき、身近なところから取り組んでいただくことが大切です。

※ ユニバーサルデザインとは、年齢や性の違い、国籍、障がいの有無などを問わず、すべての人が自由に快適に利用でき、行動できるような思いやりあふれる配慮を、まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方のことです。

【福岡市におけるユニバーサルデザインの取り組み事例】

- 視覚障がい者誘導用の点字ブロックの設置
- 歩道の段差解消やスロープ・手すりの設置などのバリアフリー化
- 駅ホームにおける転落防止設備（ホームドア）の整備
- 区役所や地下鉄、119番通報などにおける多言語対応
- 区役所における手話通訳者の配置



乗降口の段差を低くして
乗り降りをしやすくした
ノンステップバス



広い乗降口、手すり、
スロープが設置された
ユニバーサルタクシー



高齢者や車いす利用者、
乳幼児連れの人が安心
して利用できるバリア
フリートイレ



パートナーシップ宣誓制度
や当事者等の交流事業等の
性的マイノリティ支援

問1 あなたは、ユニバーサルデザインについてどの程度知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=536) 無回答0.4

※上記の福岡市におけるユニバーサルデザインの取り組み事例をご参照ください。

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1 言葉の意味、具体的な取り組み事例を知っていた | 31.5 |
| 2 言葉の意味は知っていたが、具体的な取り組み事例は知らなかった | 32.5 |
| 3 言葉を聞いたことはあったが、意味は知らなかった | 20.5 |
| 4 知らなかった | 15.1 |

問2 ユニバーサルデザインに基づく取り組みを知っていますか。また利用したことがある取り組みはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=536) 無回答0.4

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 知っている取り組みがあり、利用したことがある | 24.3 |
| 2 知っている取り組みはあるが、利用したことはない | 38.4 |
| 3 取り組みを知らなかった | 36.9 |

問3 福岡市はユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=536) 無回答－

- | | | |
|---|----------------|------|
| 1 | 進んでいる | 6.9 |
| 2 | どちらかといえば進んでいる | 41.0 |
| 3 | どちらかといえば進んでいない | 11.2 |
| 4 | 進んでいない | 2.6 |
| 5 | わからない | 38.2 |

問4 「ユニバーサル都市・福岡」を実現するために、今よりも充実させる必要があると思う取り組みは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=536) 無回答－

- | | | |
|---|-------------------------------------|------|
| 1 | 気配りや思いやりの心を育てる教育の充実 | 58.6 |
| 2 | ホームページの充実などわかりやすい情報発信 | 27.6 |
| 3 | 啓発イベントや表彰制度などの充実 | 12.7 |
| 4 | 駐車・駐輪マナーの向上 | 52.6 |
| 5 | ベンチを増やすなど、誰もが気軽に外出しやすい環境整備 | 42.4 |
| 6 | 道路、公園、建築物などハード面のバリアフリー化推進 | 59.5 |
| 7 | 飲食店や宿泊施設、集客施設などにおけるバリアフリー化や多言語対応の促進 | 42.4 |
| 8 | その他（具体的に： ） | 3.9 |
| 9 | 特になし | 2.8 |

問5 福岡市では、「ユニバーサル都市・福岡」の普及・啓発を図るため、ロゴマークを作成し、市内のさまざまな場所に掲出しています。あなたは、このマークを見たことがありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=536) 無回答0.2

- | | | |
|---|---------|------|
| 1 | 見たことがある | 54.5 |
| 2 | 見たことがない | 45.3 |



【ユニバーサル都市・福岡ロゴマークについて】

「ユニバーサル」の文字に隠れている「サル」の顔の中に、やさしさの象徴となる「ハートマーク」を、その中に人を表す「i」を配置し、人がやさしさに包まれていることを表しています。

《すべての方におたずねします。》

問9 あなたは、外国人観光客のマナーを守った市内観光のために、今後市が力を入れていくべき施策は何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。 (N=536) 無回答0.6

1	日本での過ごし方・マナーを知ってもらうための情報発信	81.9
2	観光スポットへの多言語ボランティアの配置	42.9
3	ポイ捨て防止のためのごみ箱、灰皿の設置	36.6
4	移動時の荷物軽減のための、手荷物配送等のサービス充実	24.3
5	その他（具体的に： ）	5.8
6	特にない	2.1

《「食のユニバーサル」について》

福岡市では、外国人観光客の多様な食文化に対応するため、市内のヴィーガン等*対応店舗の拡充に向けた国内外への店舗情報のプロモーションや飲食店等への支援を進めているところです。

福岡市の観光振興推進のためにも、訪日外国人が福岡の「食」を満足できるよう、受入れ環境の充実を図る必要があります。

※ヴィーガン等とは

- ・ヴィーガン：食べ物の場合、肉や魚介類のほか、卵製品や乳製品、蜂蜜を含めた動物性食品を一切口にしない人
- ・ベジタリアン：肉や魚介類などの動物性食品を食べず、野菜などの植物性食品を食べる人
- ・ハラール：イスラム教で「許されたもの」を指します。食べ物の場合、豚肉やアルコール飲料などは禁じられています。

問 10 あなたは、ヴィーガン等を知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

(N=536) 無回答-

- | | | |
|---|------------------|------|
| 1 | 知っている | 65.1 |
| 2 | 聞いたことはあるがあまり知らない | 21.8 |
| 3 | 全く知らない | 13.1 |

問 11 あなたは、飲食店でヴィーガン等の料理を食べたことはありますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。(N=536) 無回答－

- 1 ある → 問 12 へ 9.7
2 ない } 81.7
3 わからない } 8.6 → 問 13 へ

問 12 《問 11 で「1」と回答した方におたずねします。》

あなたは、その飲食店をどのような手段で知りましたか。あてはまるものをすべて選んでください。（n=52）無回答－

- | | | |
|---|-------------|------|
| 1 | 情報誌・インターネット | 38.5 |
| 2 | テレビ | 19.2 |
| 3 | SNS・ブログ | 32.7 |
| 4 | 口コミ | 17.3 |
| 5 | 友人の紹介 | 23.1 |
| 6 | その他（具体的に： ） | 21.2 |

《すべての方におたずねします。》

問 13 あなたは、今後ヴィーガン等に対応する飲食店へ行ってみようと思いますか。あてはまるものを
1つだけ選んでください。 (N=536) 無回答—

1 思う	}	→	問 14 へ	6.7
2 どちらかと言えば思う				19.4
3 思わない		→	問 15 へ	73.9

問 14 《問 13 で「1」「2」と回答した方におたずねします。》

あなたは、ヴィーガン等対応の飲食店で、行ってみたいジャンルはありますか。あてはまるものを
すべて選んでください。 (n=140) 無回答—

1 和食・日本料理	57.9
2 中華料理	37.9
3 イタリアン・フレンチ	52.1
4 エスニック料理・アジア料理	42.1
5 カフェ	49.3
6 その他（具体的に： ）	0.7
7 特にない	4.3

問 15 《問 13 で「3」と回答した方におたずねします。》

ヴィーガン等に対応する飲食店へ行ってみたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものをす
べて選んでください。 (n=396) 無回答0.3

1 身近に店舗がない	27.8
2 対応する飲食店の情報が少ない	26.0
3 食べたいメニューがない	50.5
4 料金が低い	13.4
5 その他（具体的に： ）	12.1
6 特に理由はない	13.6

≪「脱炭素社会の実現に向けた取組み」について≫

福岡市では、近年の地球温暖化やその影響を踏まえ、市民の安心・安全な暮らしを確保し、より良い未来へつなげるため、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする「脱炭素社会」を目指しています。脱炭素社会の実現には、省エネルギーの取組みや太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入・活用、ライフスタイルを脱炭素型に変えていくことが重要です。

問 16 あなたのご家庭での、脱炭素行動についておたずねします。（１）～（１０）のそれぞれの項目について、あてはまるものを１つずつ選んでください。

※ 当該製品を保有していない、使用していない、設定ができないなどの場合は「該当しない」とお答えください

(N=536)	いつも取り組んでいる	たまに（一部で）取り組んでいる	取り組んでいない	該当しない	無回答
（１）家電製品を購入または買い替えるときには、省エネ性能の高いものを選ぶよう心がけている	38.8	47.9	9.7	2.4	1.1
（２）家電製品を使用しないときはプラグを抜いている	12.3	45.5	38.4	3.2	0.6
（３）照明は、LED ライトを使用している	52.6	37.5	7.1	2.4	0.4
（４）冷蔵庫の扉の開閉回数や時間をできるだけ少なくしている	41.6	40.9	15.9	1.3	0.4
（５）家庭の電気について、再生可能エネルギーなど発電時に二酸化炭素排出量が少ない電力プランを選択している	11.4	22.9	47.8	17.2	0.7
（６）電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車を利用している	10.1	7.8	47.0	34.0	1.1
（７）紙の削減や移動による環境負荷を減らすため、行政手続や民間サービスには、オンラインを優先して利用している	18.5	48.7	26.3	6.0	0.6
（８）宅配ボックス・置き配の利用や駅・コンビニ受け取りにより、宅配の再配達を削減している	39.2	30.6	21.6	8.0	0.6
（９）商品を選ぶとき、プラスチック製品ではなく紙や植物由来素材の製品を選んだり、簡易包装された商品を選んでいる	13.8	57.6	25.9	2.1	0.6
（１０）リサイクルショップやフリーマーケット、フリマアプリなどを利用している	12.1	49.3	32.1	6.0	0.6

問 17 あなたは今後、問 16 のような脱炭素行動に取り組みたいと思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。（N=536）無回答 0.7

- | | |
|--------------------|------|
| 1 取り組みたい | 31.0 |
| 2 どちらかといえば取り組みたい | 64.0 |
| 3 どちらかといえば取り組みたくない | 3.5 |
| 4 取り組みたくない | 0.7 |

問 18 あなたは今後、どのようなことが行われれば、問 16 のような脱炭素行動に取り組みやすくなると思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(N=536) 無回答 0.4

- | | |
|------------------------------------|------|
| 1 方法や費用に関する情報の充実 | 63.8 |
| 2 メリットや効果についての広報 | 60.1 |
| 3 取り組みをサポートするサービスやアプリ | 45.0 |
| 4 取り組みを共有できる仲間やコミュニティ | 14.0 |
| 5 きっかけとなるイベント | 20.7 |
| 6 補助金の充実 | 39.7 |
| 7 その他（具体的に： ） | 3.4 |
| 8 わからない | 2.2 |

問 19 あなたは、次の行動が脱炭素や二酸化炭素削減に繋がる行動だと知っていますか。知っているものをすべて選んでください。(N=536) 無回答—

- | | |
|-------------------------------------|------|
| 1 徒歩や自転車での移動 | 87.5 |
| 2 節水 | 59.1 |
| 3 宅配ボックス・置き配の利用や駅・コンビニでの受け取り | 55.6 |
| 4 ごみの減量 | 79.3 |
| 5 ごみをきちんと分別する | 69.4 |
| 6 食べ残しゼロ | 68.3 |
| 7 はかり売りを利用するなど、好きなものを必要な分だけ買う | 31.7 |
| 8 地産地消、地元産の旬の食材を積極的に選ぶ | 39.0 |
| 9 カーシェアリングサービスの利用 | 33.8 |
| 10 クールビズ・ウォームビズに取り組む | 43.5 |
| 11 サステナブルファッション※ ¹ に取り組む | 28.0 |
| 12 オンライン手続き・テレワーク | 38.6 |
| 13 いずれも知らない | 1.3 |

※ 1 サステナブルファッション

衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組み。

取組み例) 『今持っている服を長く大切に着ること』や、
『リユース（再利用）でファッションを楽しむこと』



国は脱炭素や二酸化炭素削減に繋がる行動をデコ活※²アクション※³として紹介しています。

※ 2 デコ活

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>



※ 3 デコ活アクション（脱炭素や二酸化炭素削減に繋がる行動）

<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/action/>

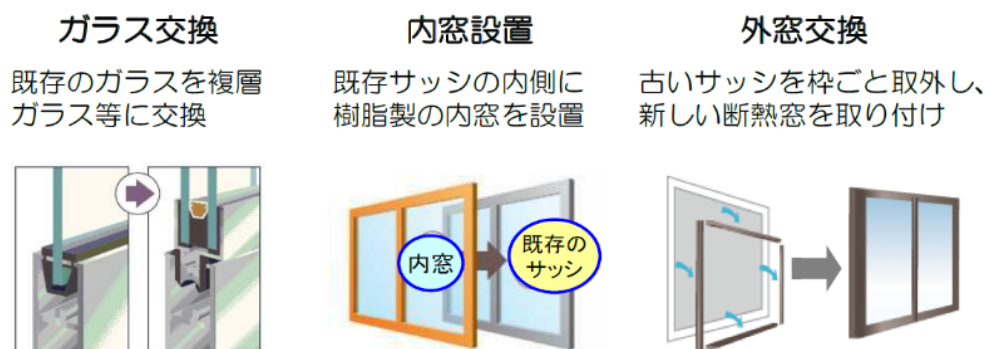


問 20 住宅窓の断熱改修について、下図のような改修方法があることや、冷暖房の効きが良くなったりヒートショックを軽減したりする改修効果があることを知っていますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。 (N=536) 無回答 0.6

- | | |
|------------------------|------|
| 1 改修方法、改修効果のどちらも知っている | 39.9 |
| 2 改修方法のみ知っている | 4.7 |
| 3 改修効果のみ知っている | 18.5 |
| 4 改修方法、改修効果のどちらも知らなかった | 36.4 |

住宅窓の断熱改修について

【改修方法例】



問 21 あなたのご家庭では、現在、次の機器を設置していますか。(1)～(6)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=536)	設置 している	設置 していない	設置 できない	わからない	無回答
(1) 太陽光発電	7.3	47.6	40.1	4.3	0.7
(2) 家庭用燃料電池※ ⁴	2.2	56.2	31.2	9.7	0.7
(3) 蓄電池※ ⁵	5.2	58.2	27.2	8.4	0.9
(4) HEMS※ ⁶	1.9	49.1	31.7	16.4	0.9
(5) 電気自動車用充電設備 (集合住宅の駐車場も含む)	5.4	54.3	32.5	7.1	0.7
(6) ヒートポンプ給湯器※ ⁷	15.5	42.2	25.9	15.7	0.7

※4 家庭用燃料電池（エネファーム）

ガスから水素を取り出して発電と給湯に利用する機器

※5 蓄電池

電気を蓄えておき、必要なときに電気を使うことができる機器

※6 HEMS（ホーム エネルギー マネジメント システム）

電気の使用状況の確認や、照明や空調などの電気機器の制御をする戸建用システム

※7 ヒートポンプ給湯器（エコキュート）

空気の熱を利用し、わずかな電気を使い効率的にお湯を沸かす機器

問 22 あなたのご家庭では、将来的に、次の機器を設置（買い替えや買い増しも含む）したいと思いますか。（１）～（６）のそれぞれの項目について、あてはまるものを１つずつ選んでください。

(N=536)	設置 したい	設置 したくない	決めていな い	わからない	無回答
(１) 太陽光発電	22.8	17.4	34.5	23.9	1.5
(２) 家庭用燃料電池	19.8	10.3	38.4	29.7	1.9
(３) 蓄電池	27.6	6.5	36.2	27.4	2.2
(４) HEMS	13.2	8.4	37.9	38.1	2.4
(５) 電気自動車用充電設備	17.4	13.2	36.6	30.2	2.6
(６) ヒートポンプ給湯器	26.5	6.9	33.8	30.8	2.1

【電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・燃料電池自動車】

電気自動車は、外部電源から充電し、バッテリーに蓄えた電気の力でモーターを動かして走行する自動車です。走行中に CO2 や排気ガスを出しません。

プラグインハイブリッド自動車は、外部電源から充電でき、ガソリンエンジンとモーターの併用で走行する自動車です。

燃料電池自動車は、燃料電池で水素と酸素を化学反応させて電気を作り、その電気でモーターを回して走行する自動車です。走行時に排出するのは水だけで、CO2 や大気汚染物質を排出しません。

問 23 あなたのご家庭では、自家用車を購入または買い替える際に、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の購入を検討しようと思いますか。あてはまるものを１つだけ選んでください。(N=536) 無回答 0.9

- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | そう思う | 15.5 |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 33.8 |
| 3 | どちらかといえばそう思わない | 16.6 |
| 4 | そう思わない | 14.4 |
| 5 | 自家用車を購入するつもりはない | 18.8 |

問 27 あなたは、ユマニチュードについてどのような情報がほしいですか。特にあてはまるものを2つまで選んでください。(N=536) 無回答2.8

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 誰でもできるユマニチュードのやり方（ポイントなど） | 70.1 |
| 2 | ユマニチュードを個人で学ぶ方法（動画など） | 29.7 |
| 3 | ユマニチュード講座※ ⁸ 開催情報（日時・内容・対象者など） | 9.9 |
| 4 | 福岡市のユマニチュードに関する取り組み | 34.1 |
| 5 | その他（具体的に： ） | 0.6 |
| 6 | 特になし | 7.5 |

※8 ユマニチュード講座について

福岡市では、市民講座や家族・介護者向け講座、医療・介護施設などの専門職向け講座、地域や児童生徒向けの講座など、対象に応じた講座を開催しています。

問 28 あなたは、ユマニチュードについて、市がどのような取り組みを行うと認知症の人が安心して暮らせるまちに近づくと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選んでください。

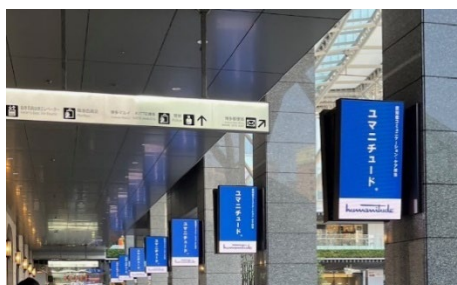
(N=536) 無回答 2.4

- | | | |
|----|-----------------------------|------|
| 1 | 家庭（家族介護者）へのユマニチュードの普及啓発 | 48.7 |
| 2 | 地域の人へのユマニチュードの普及啓発 | 47.2 |
| 3 | 学校教育の中でユマニチュードを学ぶ機会の創出 | 48.3 |
| 4 | 企業・働く世代に向けたユマニチュードの普及啓発 | 24.4 |
| 5 | 医療・介護施設などの専門職へのユマニチュードの普及啓発 | 19.6 |
| 6 | 誰でも気軽にユマニチュードを学べる体制づくり | 28.9 |
| 7 | ユマニチュードに関するイベントの実施 | 7.5 |
| 8 | 広報媒体（市政だより、SNS など）を活用した情報発信 | 15.5 |
| 9 | その他（具体的に：　　　　　） | 0.7 |
| 10 | 特になし | 3.2 |

【令和6年度の取組み】

市民認知度のさらなる向上を目指し、市内全小学校（４年生）や東区・博多区・中央区の全公民館での講座を実施するとともに、テレビやラジオ等、様々な媒体を活用して広報しています。

また、第6回日本ユマニチュード学会・福岡総会を日本ユマニチュード学会との共催で開催しました。（講演会をはじめ全国でユマニチュードに取り組む方々の学術発表のほか自治体として唯一ユマニチュードに取り組む福岡市の取組みを全国に発信しました。）



＜テレビ番組のロゴ＞



上記コードから
視聴できます！

＜博多駅でのデジタルサイネージ＞ ＜小学校でのユマニチュード講座の様子＞

市政アンケート調査実施後アンケート

このたびは令和6年度市政アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。
今後の事業の参考とするため、アンケート調査を終えての皆さまのご意見、ご感想をお伺いします。

問 29 あなたは、市政アンケート調査協力員としてアンケートに回答することにより、市政への関心を高めたり、理解を深めたりすることができましたか。(1) (2) のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=536)	できた	どちらかといえ ばできた	どちらかといえ ばできなかった	できなかった	無回答
(1) 関心を高めることができた	56.0	41.8	0.9	1.1	0.2
(2) 理解を深めることができた	47.9	48.3	2.8	0.6	0.4

問 30 あなたは、市政アンケート調査の調査回数と設問数についてどう思いましたか。(1) (2) のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

(N=536)	多い	多い どちらかといえ ば	ちょうど良い	少ない どちらかといえ ば	少ない	無回答
(1) 調査回数 (1 か月に1回 計6回)	3.0	15.3	78.0	2.4	0.7	0.6
(2) 設問数 (1 回あたり 30 問程度)	7.6	27.6	62.5	1.3	0.2	0.7

問 31 市政アンケート調査についてのご意見や感想があれば、ご自由にお書きください。

--

お忙しい中、調査にご協力いただきありがとうございました。記入漏れや誤りがないか再度確認の上、同封の返信用封筒にてご返送をお願いします。

なお、今回の第6回を持ちまして、令和6年度市政アンケート調査は終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの謝礼（回答1回につき500円分のクオカード）は令和7年1月～3月頃の郵送を予定しております。ご住所に変更などございましたらお知らせください。

標本構成（第6回）（N=536）

◆性別

男性	47.2
女性	52.8

◆年齢

18～29 歳	14.9
30 代	14.2
40 代	21.3
50 代	14.9
60 代	14.2
70 歳以上	20.5

◆職業

正社員・正職員	38.4
契約社員・派遣社員・嘱託	6.3
パート・アルバイト	15.1
会社等役員	1.9
自営業・家族従事者	4.1
専業主婦・専業主夫	13.6
学生	5.2
無職	14.0
その他	1.3

◆行政区

東区	20.9
博多区	12.3
中央区	12.9
南区	17.5
城南区	8.0
早良区	14.4
西区	14.0

◆居住年数

3 年未満	11.2
3 年以上 5 年未満	4.5
5 年以上 10 年未満	11.6
10 年以上 20 年未満	22.2
20 年以上 30 年未満	16.0
30 年以上	34.5

◆居住形態

持家の戸建て	35.4
持家の集合住宅	26.5
賃貸の戸建て	2.6
賃貸の集合住宅	32.6
社宅・寮	2.8
その他	-

◆18 歳未満の同居家族

いる	34.3
いない	60.3
無回答	5.4

◆65 歳以上の同居家族

いる	38.1
いない	61.4
無回答	0.6

◆回答方法

郵送	41.0
インターネット	59.0

令和6年度
福岡市市政アンケート調査報告書

令和7年3月

発行 福岡市市長室広聴課

〒810-8620

福岡市中央区天神一丁目8-1

電話 092(711)4067

FAX 092(733)5580

E-mail kocho.MO@city.fukuoka.lg.jp